

ふくさき町の教育

福崎町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
(令和2年度事業分)

令和3年 12月

福崎町教育委員会

<目 次>

I	はじめに	1
II	実施方針	2
III	事務事業点検・評価表	3

学校教育課

(1)	就学前の子育て支援事業	4～20
(2)	教育委員会事業	21～25
(3)	学校関係事業	25～38
(4)	給食センター事業	71～75

社会教育課

(5)	社会教育事業	39～44、54～57
(6)	芸術・文化事業	44～47、49～53
(7)	図書館事業	47～49
(8)	文化財事業	58～67
(9)	社会体育事業	53～54、67～71、75～81
IV	学識経験者の意見	82
V	参考資料	90
	■令和2年度福崎町教育の努力目標	91
	■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱	97

I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和2年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様はこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 実施方針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

1 趣 旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

2 実施方法

ア 点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ 点検及び評価は、毎年度1回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとしします。

ウ 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は1年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとしします。

エ 教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとしします。

カ 教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度以降の事務・事業に取り組むものとしします。

3 実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

Ⅲ 事務事業点検・評価表

3. 民 生 費

住民生活に密着したサービスを提供するために要した経費で、保健、医療、福祉と連携し、高齢者や障がい者等「住民誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり」に努めました。今後も少子高齢化や共生社会に対応するため実情に応じた福祉サービスを行い、住民誰もがより良い日常生活を継続できるよう支援していきます。

また、認定こども園では、子どもの健やかな育ちと豊かな人間形成が可能となるよう、就学前教育・保育の充実を図りました。

防犯面では、福崎町防犯指導委員会によるパトロールやキャンペーンを実施し、住民の防犯意識の高揚を図り、安全安心に暮らせるまちづくりの推進に努めました。

1次評価：A

(2) 児童福祉費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.児童福祉費	1.児童福祉総務費	74,829,000 ^円	73,872,720 ^円	956,280 ^円

児童の健全な育成のため、障がいのある児童に対して年金の支給、障がいのある児童及び母子・父子家庭への就学援助、赤ちゃん誕生祝記念品として「あかちゃん日記」等の贈呈をしました。

子ども・子育て支援事業では、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況を確認するため、福崎町子ども・子育て会議を開催しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 総 取 組 内 容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進	子育て相談業務の充実 包括的・継続的な相談支援体制の構築
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
◆ 総 取 組 内 容	地域全体で支える子育ての推進	経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続

事業名/子ども子育て支援事業(学校教育課)

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 総 取 組 内 容	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 総 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発	

◆事業内容(目的・必要性)

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況を確認するため、福崎町子ども・子育て会議を開催しました。また、幼児教育・保育に係る公定価格の改定に対応するため、子ども・子育て支援システムの改修を行いました。

病気やけがで集団生活ができない児童と保護者への支援を行うため、神崎郡3町で神崎郡病児病後児保育施設を開設し、令和3年3月から病児保育事業を開始しました。

◆事業の成果

■福崎町子ども・子育て会議

○委員構成 15名

・子どもの保護者 5名

- ・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者 5名
- ・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 5名

○会議開催 1回（令和3年2月22日）

■子ども・子育て支援システム改修

○業務の内容

子ども・子育て支援新制度システム保守業務委託 1,576,080円

子ども・子育て支援新制度システム公定価格マスターデータ追加設定委託料 165,000円

○業務委託業者 (株) さくらケーシーエス

■病児保育事業

○実施場所

神崎郡病児病後児保育施設（ケアステーションかんざき2階）

○負担金

病児保育事業負担金 5,468,000円

□効果・達成度

福崎町子ども・子育て会議において、「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況の確認を行うとともに、子育て支援に関する意見交換をすることができました。また、子ども・子育て支援システムの改修を行うことで、幼児教育・保育に係る適正な予算執行を行いました。令和3年3月から神崎郡病児病後児保育施設を開始し、子育て家庭への支援体制を整備することができました。

□課題・改善

計画の進捗について子ども・子育て会議の場において、点検・見直しを行い、計画に沿った事業を展開していく必要があります。

病児保育事業については、保護者への丁寧な周知に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,801,000	10,383,941	2,229,000		5,468,000	2,686,941

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	3. 保 育 所 費	5,000,000 ^円	4,493,410 ^円	506,590 ^円

福崎町に住所を有し、保護者の就労等の事情により町外の保育所を利用した児童の費用について、該当する私立保育所の設置者に対して支出した費用です。

事業名／町外私立保育所委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

施設の利用を委託した町外私立保育所へ委託料を支払いました。

◆事業の成果

■町外私立保育所 (単位：円)

施設名	委託料
香島保育園	1,374,610
揖保みどり保育園	653,940
神崎保育園	2,285,580
ぽっかぽっかにつけ保育園	179,280
計	4,493,410

□効果・達成度

町外私立保育所へ委託料の支払を行い、各施設の適正な運営と保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も町外保育所への適正な予算執行に努めていきます。

■保育所等年間延べ利用児童数 (単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
たつの市	香島保育園	50	6	6	0	0	0
	揖保みどり保育園	90	5	0	5	0	0
神河町	神崎保育園	90	24	0	12	12	0
加古川市	ぽっかぽっかにつけ保育園	78	3	0	0	0	3
合計			38	6	17	12	3

予算額	決算額	財源内訳 (単位：円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,000,000	4,493,410	3,323,299		672,730	497,381

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	繰越明許費	不用額
2. 児童福祉費	4. 認定こども園費	605,089,000 ^円	588,314,875 ^円	2,900,000 ^円	13,874,125 ^円

町内及び町外の認定こども園を利用し、就学前教育・保育を希望する児童のために要した費用です。

主な支出は、職員18名及び会計年度任用職員に係る人件費、私立認定こども園及び町外公立認定こども園への施設型給付費、事務費等です。コロナ禍において、手洗いや手指消毒、検温等の感染症対策を徹底し、認定こども園における教育・保育を継続して提供しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	①就学前教育・保育の充実
総◆	取組内容 安心して子育てができる保育サービスの提供 必要な保育教諭数の確保	食育の推進、基本的な生活習慣の確立 就学前教育から学校教育への円滑な接続
Ⅱ 教育・文化	1 保育・就学前教育	②環境の整備
総◆	取組内容 旧園舎部分の長寿命化整備	年齢構成に対応した園舎の改修
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総◆	取組内容 保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 地域ぐるみでの子育てサポートの推進	子育て世代と多世代間交流事業の推進 経済的支援(就学援助費支給、保育料軽減など)を継続
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	②子育て家庭への支援
総◆	取組内容 地域全体で支える子育ての推進	
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総◆	取組内容 サポートファイルの活用、適切な支援継続	

事業名/認定こども園管理費

◆事業内容(目的・必要性)

入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営、管理を行いました。
教育・保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会へのオンラインによる参加や、職員の計画による園内研修を実施しました。

また、児童の安全対策と快適な保育環境づくりのため、施設・設備等の修繕、清掃及び害虫駆除等を行いました。

◆事業の成果

■園医等報酬

・内科医 818,800円 ・歯科医 628,470円 ・薬剤師 168,000円

■修繕関係

園名	金額(円)
田原幼児園	790,790
八千種幼児園	68,750
福崎幼児園	1,035,482
高岡幼児園	33,000
合計	1,928,022

■委託料関係

区分	金額(円)
清掃委託料	353,005
植木剪定等委託料	74,132
電気設備管理委託料	753,720
特殊建物等定期報告委託料	352,000
警備委託料	569,184
消防設備点検委託料	75,900
電算機器保守委託料	40,568
施設管理委託料	330,000
合計	2,548,509

□効果・達成度

保育教諭の適正な配置や施設管理を行い、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。
園内研修では、職員間で活発な意見交換を行い、教育・保育の質の向上につながりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
入所・入園児童数	635	699	709	675	645	730

□課題・改善

低年齢児からの入園が年々増加していることから、保育教諭の確保が課題となっています。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
98,806,000	95,294,978	4,871,345		8,248,262	82,175,371

事業名/認定こども園事業費

◆事業内容(目的・必要性)

認定こども園ごとの教育・保育目標により、入園児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら、年齢に応じた教育・保育を実施しました。

保護者の多様なニーズに対応するため、午後7時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない1号認定子どもの一時預かり（幼稚園型）事業及び在宅児童の一時預かり（一般型）事業を実施しました。また、教育・保育を継続して提供するため、新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、兵庫県が実施する「ひょうご保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の保育料を助成しました。

◆事業の成果

■延長保育事業利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
236	34	144	12	330	252	1,008

■一時預かり事業（一般型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	姫 学	サルビア	合 計
22	58	90	170

■一時預かり事業（幼稚園型）利用状況（年間延べ利用者数）（単位：人）

田 原	八千種	福 崎	高 岡	姫 学	サルビア	合 計
76	53	90	7	64	48	338

■保育材料代

園 名	金 額 (円)
田 原 幼 児 園	1,495,593
八 千 種 幼 児 園	691,768
福 崎 幼 児 園	1,534,395
高 岡 幼 児 園	192,654
合 計	3,914,410

■給食費等賄費

園名	金額(円)
田原幼稚園	2,465,685
八千種幼稚園	991,731
福崎幼稚園	1,933,445
高岡幼稚園	329,835
合計	5,720,696

■備品購入状況 (単位:円)

園名	金額(円)
田原幼稚園	205,194
八千種幼稚園	218,009
福崎幼稚園	228,712
高岡幼稚園	144,551
合計	796,466

■衛生資材等購入費

園名	金額(円)
田原幼稚園	1,334,020
八千種幼稚園	1,086,551
福崎幼稚園	1,167,783
高岡幼稚園	514,192
合計	4,102,546

■ひょうご保育料軽減事業

対象児童数 24人

保育料軽減事業補助金 2,311,900円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業（一般型・幼稚園型）を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

利用者負担額の一部を助成することで、より多くの世帯の経済的負担の軽減を図ることができ、子どもを産み育てやすい環境づくりに寄与しました。

□めざそう値

第5次総合計画調査事項	H28	H29	H30	R1	R2
延長保育事業（延べ人数）	1,742	2,062	2,504	1,832	1,008
一時預かり事業【一般型】（延べ人数）	283	222	216	77	170
一時預かり事業【幼稚園型】（延べ人数）	2,225	1,699	1,255	895	338

□課題・改善

引き続き、延長保育事業や一時預かり事業等の子育て支援事業の周知に努め、利用者が利用しやすい環境づくりを進める必要があります。また、新型コロナウイルス感染症対策を引き続き徹底して行い、教育・保育を継続的に提供していきます。

■認定こども園年間延べ利用児童数

(単位：人)

施設名	定員	利用延べ児童数	利用状況				
			0歳児	1・2歳児	3歳児	4歳以上児	
田原幼児園	240	2,461 (12)	52 (0)	463 (12)	633 (0)	1,313 (0)	
八千種幼児園	85	740 (12)	27 (0)	208 (0)	193 (0)	312 (12)	
福崎幼児園	180	1,784 (39)	31 (0)	368 (25)	384 (0)	1,001 (14)	
高岡幼児園	45	251 (0)	0 (0)	71 (0)	36 (0)	144 (0)	
姫学こども園	75	939 (93)	42 (7)	259 (48)	211 (19)	427 (19)	
サルビアこども園	105	1,303 (159)	57 (3)	423 (48)	295 (48)	528 (60)	
小計	730	7,478 (315)	209 (10)	1,792 (133)	1,752 (67)	3,725 (105)	
姫路市	萩学園	305	72	0	24	0	48
	姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	193	128	0	39	12	77
	チョコハウスあおぞら保育園	115	12	0	12	0	0
	まるやま保育園	145	12	0	0	6	6
	山田こども園	70	23	0	11	12	0
	前之庄こども園	100	12	0	12	0	0
加西市	愛の光こども園	135	10	0	0	0	10
	白竜こども園	120	19	0	12	0	7
	認定こども園とみた	140	22	5	5	0	12
	北条ならの実こども園	176	12	0	0	12	0
市川町	屋形こども園	80	13	9	4	0	0
	いちかわ西こども園	90	36	0	12	12	12
	いちかわ東こども園	170	24	0	0	24	0
多可町	あさかこども園	105	24	0	12	0	12
	四恩こども園	75	8	0	4	0	4
石川県白山市	みかわこども園	155	3	0	3	0	0
小計		430	14	150	78	188	
合計		7,908 (315)	223 (10)	1,942 (133)	1,830 (67)	3,913 (105)	

※ () 内は他市町からの受託児で外数

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,333,000	22,434,215	5,536,450		3,650,900	13,246,865

事業名／園児送迎バス運行事業

◆事業内容(目的・必要性)

送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。

◆事業の成果

主な支出は、マイクロバス運転手及び添乗員に係る報酬、マイクロバスの維持管理に要した費用です。

■マイクロバス利用者数 (単位:人)

田 原 幼 児 園	6
八 千 種 幼 児 園	2
福 崎 幼 児 園	2
高 岡 幼 児 園	3
サルビアこども園	1
合 計	14

□効果・達成度

ニーズのある家庭に対し、よりきめ細やかに対応し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。

□課題・改善

朝夕各1便ずつで運行しており、1台で町内6園すべての保護者の希望に応じていくことが難しいのが現状です。

今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,215,000	3,871,106			217,020	3,654,086

事業名／私立認定こども園運営事業、町外公立認定こども園委託事業

◆事業内容(目的・必要性)

私立認定こども園及び町外公立認定こども園へ施設型給付費を支払いました。

また、町内私立認定こども園の特別保育等に係る補助金交付を行い、教育・保育の充実を図りました。

◆事業の成果

■町内私立認定こども園給付費 (単位:円)

	給 付 費
姫 学 こ ど も 園	83,888,170
サルビアこども園	103,608,640
合 計	187,496,810

■町内私立認定こども園補助金

(単位：円)

	姫学こども園	サルビアこども園
調理員補助	4,059,255	4,721,533
パン代補助	34,600	36,266
特別保育等補助金	5,017,610	4,996,600
特別保育料	196,300	250,400
障害児保育補助	294,400	736,000
保育体制強化事業補助	0	1,000,000
感染症対策事業補助	1,984,000	2,000,000
合計	11,586,165	13,740,799

■町外私立認定こども園給付費 (単位：円)

	給付費
萩学園	3,865,610
姫路日ノ本短期大学付属幼稚園	8,174,780
チョコハウスあおぞら保育園	1,416,110
まるやま保育園	726,520
愛の光こども園	543,880
白竜こども園	1,342,870
認定こども園とみた	1,933,660
屋形こども園	1,842,600
あさかこども園	3,447,060
四恩こども園	1,092,550
みかわこども園	228,050
合計	24,613,690

■町外公立認定こども園給付費 (単位：円)

	給付費
前之庄こども園	1,165,330
山田こども園	2,154,440
北条ならの実こども園	599,300
いちかわ西こども園	2,168,250
いちかわ東こども園	888,040
合計	6,975,360

□効果・達成度

私立認定こども園及び町外公立認定こども園に対して施設型給付費の支払を行い、各施設の適正な運営と教育・保育の充実に寄与しました。

□課題・改善

今後も私立認定こども園等への適正な予算執行に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
253,600,000	244,412,824	173,991,387		446,700	69,974,737

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2. 児童福祉費	5. 子育て支援施設費	26,673,000 円	25,093,267 円	1,579,733 円

核家族化や少子化の進行、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるよう支援しました。コロナ禍において、多くの行事を中止、縮小しましたが、相談業務は継続しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
総 総	◆ 取組内容	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討 子育て世代と多世代間交流事業の推進
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総	◆ 取組内容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
子育て支援事業参加者数	18,967	20,268	18,975	16,673	8,918	21,000

事業名／子育て支援センター運営事業（福崎幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い、町広報誌、ホームページ等による情報提供を実施しました。保健センターとの連絡を密に行い、産前から施設を利用してもらうよう呼びかけを行いました。また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放し、子育ての孤立化や負担感の軽減を図りました。

◆事業の成果

■子育て支援センター事業年間延べ利用者数

おひさまらんど利用者数	すきっぷひろば参加者数	その他の事業参加者数	合計
2,690人	0人	197人	2,887人

■子育て相談件数 553件

■地域支援活動（すきっぷひろば）

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止しました。

■その他の事業

実施月	事業内容
7月	個別相談日
8月	個別相談日
9月	音楽であそぼう（4回）
10月	菅原先生とおひさま座談会
11月	歯のはなし、個別相談日
12月	個別相談日
1月	和風おもちゃであそぼう（4回）
2月	個別相談日
3月	ぽかぽかタイム（4回）

□効果・達成度

保健センターとの連絡を密にし、4か月健診時に施設の周知を行うことで新たな来所者が増え、子育て中の親子の交流が広がりました。

専門の相談員による育児相談会や個別相談日を年6回設定し、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有することができました。

□課題・改善

新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて、内容や実施方法を検討しながら事業を進めていきます。

今後も、子育て支援施設の拠点として関係機関と連携をとりながら、子育て親子が気軽に集い、交流できる環境づくりに努めます。

予算額	決算額	財源内訳（単位:円）			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,724,000	3,209,214	2,456,021			753,193

事業名／西部子育て学習センター運営事業（文化センター内）

◆事業内容(目的・必要性)

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では、乳幼児期の子育てについての学習・実習等を開催しました。また、子育てグループ活動では、育ちあうなかまづくりの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。

◆事業の成果

■西部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

ともだちひろば利用者数	子育てグループ活動参加者数	子育て学習講座参加者数	その他の事業参加者数	合計
3,210人	741人	111人	167人	4,229人

■子育て相談件数 23件

■子育てグループ

- ・4グループ44組93人の親子が参加
- ・グループごとに年間10回活動を実施

■子育て学習講座

実施月	テーマ
7月	自分のこころとからだをみつめよう
10月	わくわく親子うんどうあそび
2月	音楽付き絵本のよみきかせとミニコンサート

■あそびのひろば

事業名	内容	実施日
ドレミ	リズムあそび・うたあそびなど	木曜日 年5回
ぐりとぐら	絵本の読み聞かせ、わらべうたなど	木曜日 年7回

□効果・達成度

44組の子育て親子が年間10回の活動に参加され、子育て中の親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も、子育て中の親子が集い、育ちあうなかまづくりの育成支援を行うとともに、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,863,000	3,455,569	2,863,284			592,285

事業名／東部子育て学習センター運営事業（田原幼稚園内）

◆事業内容(目的・必要性)

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供し、子育て講演会の開催や親子遊び、製作遊びなどの事業を定期的の実施しました。母子参加の事業だけでなく、多世代交流、家族参加の事業など、父親や祖父母が参加する機会を多く設けました。

◆事業の成果

■東部子育て学習センター事業年間延べ利用者数

にこにこひろば利用者数	製作あそび参加者数	その他の事業参加者数	合計
1,324人	221人	257人	1,802人

■子育て相談件数 51件

■製作あそび

実施月	テーマ
6月～年8回	にこにこひろばで作ってあそぼう
8月	手作り教室（おもちゃ作り）
11月	手作り教室（木の実の製作）

■その他の事業

実施月	テーマ
8月	家族で楽しむ川遊び（家族対象）
9月	子育て講演会
10月	いもほり
1月	親子ヨガ
3月	成長の記録ノート作り

□効果・達成度

感染症対策を徹底しながら事業を実施し、参加者に子育ての知識や情報の提供ができました。また子育て親子の交流を促すことができました。家族参加の事業や製作遊びでは、母親だけでなく、父親や祖父母の参加もありました。

□課題・改善

今後も、学びの場・安らぎの場・子育て中の親子の心のよりどころとして、身近な施設となるよう努めます。また、家族とのふれあいを大切し、父親の積極的な子育て参加を促していきます。そして「子どもの育ち」を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,736,000	2,359,009	1,776,469			582,540

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
2. 児 童 福 祉 費	6. 学 童 保 育 費	26,745,000 ^円	24,038,373 ^円	2,706,627 ^円

共働き家庭など、学校から帰宅しても誰もいない留守家庭の小学生の保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館の北側にある「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。

土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

4、5月の小学校臨時休業期間中も開園し、就労家庭の子育て支援に努めました。

放課後子ども教室では、地域の大人との交流を通じ、子どもの居場所づくりに努めました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	3 子育て支援	①子どもの健やかな成長支援
◆ 取 組 内 容	学童保育や放課後子ども教室の更なる充実	保護者ニーズに合った子育て支援施策の検討
Ⅱ 教育・文化	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
◆ 取 組 内 容	学童保育利用時間延長 ※平成28年度から午後7時まで延長 (1時間延長)	

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプラン KPI	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R6)
学童保育利用者数	235	286	327	292	222	350

事業名／福崎西部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎小学校及び高岡小学校の留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。

土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため空気清浄機等を設置するなどして衛生管理に努めました。

◆事業の成果

福崎西部学童保育園の運営(月曜日から金曜日)に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に

係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	45 (-)	64 (-)
5月	39	51
6月	48	60
7月	40	49
8月	43 (15)	57 (15)
9月	39	48
10月	38	51
11月	34	47
12月	33 (19)	40 (28)
1月	34 (21)	41 (21)
2月	33	42
3月	31 (39)	39 (43)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

質の高い保育を実施するため、人材確保と研修により指導員の資質向上に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,700,000	10,386,465	3,418,616		3,336,000	3,631,849

事業名／福崎東部学童保育園運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校及び八千種小学校の留守家庭の児童が、田原小学校体育館の北側にある福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。土曜日はセンター方式により町内4小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

園庭の滑り台を新たにし、環境改善に努めました。また、新型コロナウイルス感染症対策として空気清浄機を設置するなどして衛生管理に努めました。

指導員においては、放課後児童支援員認定資格研修への参加により資質向上に努めました。

◆事業の成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に

係る報酬です。

■学童保育園利用状況 ※（ ）内は長期休業中の利用人数（単位：人）

	平均利用者数	最大利用者数
4月	46 (-)	61 (-)
5月	46	53
6月	58	71
7月	56 (-)	64 (-)
8月	57 (19)	64 (20)
9月	50	59
10月	50	59
11月	47	56
12月	49 (26)	59 (33)
1月	42 (30)	47 (30)
2月	43	51
3月	42 (40)	52 (44)

□効果・達成度

留守家庭の小学生の健全育成及び安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

質の高い保育を実施するため、人材確保と研修により指導員の資質向上に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,464,000	13,165,144	4,322,384		4,485,000	4,357,760

事業名／田原放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

田原小学校の1年生を対象に、田原小学校の教室において6月～3月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く。）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をし、地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1年生
4月	—
5月	—
6月	17
7月	14
8月	13
9月	16
10月	16
11月	15
12月	11
1月	14
2月	16
3月	12
計	144

□効果・達成度

指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場を持つことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
375,000	296,841	168,000			128,841

事業名／八千種放課後子ども教室事業

◆事業内容(目的・必要性)

八千種小学校の1年生を対象に、八千種小学校の教室において6月～3月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や折り紙などの活動をしなが、他の学年の児童の下校時間と合わせることで、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。

◆事業の成果

主な支出は、指導員の報酬です。

■利用状況（実利用人数）（単位：人）

	1年生
4月	—
5月	—
6月	21
7月	22
8月	—
9月	22
10月	22
11月	22
12月	23
1月	24
2月	24
3月	24
計	204

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。

また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約1時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、さらに工夫していく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
206,000	189,923	108,000			81,923

9. 教育費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「志」の種をまく 福崎の教育 ～ すべての子どもの心に「灯」をともす 学校教育、町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育」を基調に、町民みんなが学ぶ福崎町の教育をめざして、知育・徳育・体育・食育の4育を基盤とし、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養、ふるさとや伝統文化を大切に思う気持ちを育むこと等、「心の教育」の充実に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、感染防止を徹底しながら各種事業を展開しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆	取組内容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総◆	取組内容	文化資源の学校教育への利活用(ふるさと意識、豊かな人間性)
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆	取組内容	人権教育の推進、人権意識の高揚 地域交流、郷土愛育成
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総◆	取組内容	サポートファイルの活用、適切な支援継続

1次評価：A

(1) 教育総務費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1. 教育総務費	1. 教育委員会費	1,286,000 ^円	1,066,886 ^円	219,114 ^円

地方教育行政全般の運営推進に要した経費で、主な支出は、委員4人にかかる報酬、教育長交際費です。

事業名／教育委員会事業

◆事業内容(目的・必要性)

教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、教育上の諸問題について審議しました。

教育委員会の会議は、定例会12回を開催しました。

協議内容及び件数は、次のとおりです。

- ・ 条例、規則等の制定、改廃に関すること 17件
- ・ 教育関係予算に関すること 2件
- ・ その他協議事項について 10件
- ・ その他報告・連絡事項について 102件

また、町長部局と連携を図り民意を反映させた教育行政を推進するための総合教育会議への出席、民生主任児童委員との意見交換会を実施しましたが、コロナ禍により学校行事の視察や各種研修会への参加は中止にしました。

◆事業の成果

教育諸課題並びに情勢をより早く察知し検討するとともに、個々の教育委員が情報収集に努め、より高

度な人格形成を目指しました。

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,286,000	1,066,886				1,066,886

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
1.教育総務費	2.事務局費	75,801,000 ^円	74,636,859 ^円	1,164,141 ^円

教育長、職員4人、会計年度任用職員に係る人件費、心を開く親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び各種大会等参加費補助金等が主な支出です。なお、新型コロナウイルス感染症に関する町独自の支援策の財源に充てるため、令和2年6月に支給した教育長の期末手当を50%（227,617円）減額しました。

事業名／事務局一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	安全で安心して学べる環境づくり
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総 ◆ 取 組 内 容	不登校指導員などによる指導体制を維持・発展 学力向上への取り組み	いじめなどの問題への早急かつ適切な対応
Ⅳ 健康・医療・福祉	4 障がい福祉	②教育・育成の充実
総 ◆ 取 組 内 容	障がいへの理解に対する研修会の充実	専門知識を持つ教職員の配置

◆事業内容(目的・必要性)

教育行政の円滑な運営を図りました。

◆事業の成果

不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。

心身障害児教育支援委員会を開催し、支援を要する児童生徒の実態把握及び特別支援学級の入級判定を行いました。

また、学力向上委員会では、学力向上に取り組みました。

□効果・達成度

不登校児童生徒に対するきめ細かな対応並びに特別支援学級への適正な入級判定ができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,513,000	8,928,063				8,928,063

事業名／学校保健安全事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校保健安全法に基づき、児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。

◆事業の成果

健康は教育の基本であるという理念のもと、児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。

また、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、新型コロナウイルス感染症予防対策のための衛生資材を購入しました。

■教職員検診費

学校名 検診名	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
胃部レントゲン	4	14,960	5	18,700	7	26,180	4	14,960	3	11,220	7	26,180	112,200
心 電 図	20	26,400	10	13,200	26	34,320	9	11,880	12	15,840	20	26,400	128,040
血 液	20	49,500	10	24,750	26	64,350	9	22,275	12	29,700	20	49,500	240,075
H b A 1 c	20	8,800	10	4,400	26	11,440	9	3,960	12	5,280	20	8,800	42,680
胸部撮影	19	27,170	10	14,300	25	35,750	9	12,870	12	17,160	18	25,740	132,990
眼 底	20	24,200	10	12,100	26	31,460	9	10,890	12	14,520	19	22,990	116,160
尿 検 査	19	2,090	10	1,100	26	2,860	7	770	11	1,210	20	2,200	10,230
診 察	20	13,200	10	6,600	26	17,160	9	5,940	12	7,920	20	13,200	64,020
聴 力	20	2,200	10	1,100	26	2,860	9	990	12	1,320	20	2,200	10,670
大腸がん	17	17,765	10	10,450	15	15,675	7	7,315	11	11,495	18	18,810	81,510
P S A	3	5,280	0	0	3	5,280	2	3,520	3	5,280	5	8,800	28,160
腹 囲	11	3,025	6	1,650	11	3,025	4	1,100	6	1,650	11	3,025	13,475
協会健保一般健診	3	16,129	0	0	2	11,100	1	6,071	0	0	0	0	33,300
追加血液検査	3	2,310	0	0	2	1,540	1	770	0	0	0	0	4,620
計	213,029		108,350		263,000		103,311		122,595		207,845		1,018,130

■児童・生徒検診費

	福 崎 小		高 岡 小		田 原 小		八 千 種 小		西 中		東 中		計
	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	
心臓検査	68	135,728	7	13,972	77	153,692	24	47,904	91	181,636	90	179,640	712,572
尿 検 査	417	41,283	52	5,148	480	47,520	139	13,761	219	21,681	300	29,700	159,093
計	177,011		19,120		201,212		61,665		203,317		209,340		871,665

■ストレスチェック委託料 15,906円

労働安全衛生法に基づき、教職員の心の健康のため、公立学校共済組合員150人、公立学校共済組合員以外の者8人がストレスチェック（オンライン診断）を受けました。

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,744,000	2,742,650	549,000			2,193,650

事業名/学校関係事業

◆事業内容(目的・必要性)

日本スポーツ振興センター負担金、各種大会等参加費補助金に係る事業です。

◆事業の成果

■各種大会等参加費

(単位:円)

学校名	大会名	派遣費用	各学校費用合計
福崎小	第44回兵庫県小学生陸上競技大会	2,552	2,552
田原小	第44回兵庫県小学生陸上競技大会	3,152	3,152
八千種小	第44回兵庫県小学生陸上競技大会	1,352	1,352
福崎西中	中播地区中学校種目別大会	467,660	1,190,820
	神崎郡中学校親善大会	30,240	
	中播地区中学校新人大会	542,420	
	兵庫県中学校新人陸上競技大会	50,520	
	兵庫県中学生陸上競技記録会	97,040	
	理科・数学甲子園ジュニア2020	2,940	
福崎東中	中播地区中学校総合体育大会	443,142	985,675
	神崎郡中学校親善大会	24,780	
	中播地区中学校新人大会	475,221	
	ジュニアオリンピック陸上競技大会	42,532	
計			2,183,551

□効果・達成度

コロナ禍において多くの大会が中止となる中、規模を縮小するなどして開催された大会にコロナ感染予防を徹底して参加しました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,030,000	2,959,661				2,959,661

事業名/国際教育推進事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	3 国際化	①国際理解の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際教育・交流及び語学教育の推進(学校教育)	未来の国際化を担う人材の育成
I 地域づくり・行政	3 国際化	②国際交流の推進
総 ◆ 取 組 内 容	国際交流に関する情報の提供	「日本語サロン」など交流の機会づくり、支援・拡充

◆事業内容(目的・必要性)

外国語指導助手(ALT)による国際理解教育を展開しました。また、外国人児童に対する学習支援員

による学習サポートを行いました。ALTの報酬等に係る事業です。

◆事業の成果

令和2年7月まではALTを2人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。9月以降は新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、ALT1人の来日が見送られ、1人体制で事業を進めました。

□効果・達成度

生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。9月以降はALTの配置と英語指導計画を見直しました。授業では、デジタル教材の活用や、国際理解教育に関する動画視聴等を学習活動に取り入れALT不足に対応しました。

□課題・改善

ALT等の指導能力をさらに高め、より一層国際教育の充実に努めます。非常時においても、継続した英語学習のため、ICTを活用した言語活動や国際交流を行い英語力の向上を目指します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,381,000	6,875,436				6,875,436

1次評価：A

(2) 小学校費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰越明許費	不 用 額
2. 小 学 校 費	1. 学 校 管 理 費	579,998,000 ^円	425,846,035 ^円	146,640,000 ^円	7,511,965 ^円

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。4月と5月を臨時休業とし夏休みを短縮して学習時間にあてるなど学校生活はコロナの影響を大きく受けましたが、手指消毒やマスクの着用など感染予防を徹底しながら学校活動を継続しました。

事業名／小学校管理事業・小学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取 組 内 容	教育環境の向上(情報機器の更新・拡充)	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆ 取 組 内 容	道德教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目的及び目標達成のための小学校教育を推進しました。

◆事業の成果

心身の発達に応じて小学校で実施する教育の目的を達成するため、合理的な運営を行いました。教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

R 2. 5. 1 現在 (単位:人)

学校 \ 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	教員	事務職・ 栄養教諭等
福 崎 小	68	62	60	88	63	79	420	25	2
高 岡 小	6	7	6	11	12	7	49	9	3
田 原 小	78	79	83	80	87	75	482	28	4
八 千 種 小	24	23	20	25	27	20	139	12	2
計	176	171	169	204	189	181	1,090	74	11
令和元年度	174	170	206	187	185	187	1,109	72	11

■小学校別児童数の推移

R 2. 5. 1 現在 (単位:人)

学 校 名	H28	H29	H30	R1	R2
福崎小学校	412	415	423	434	420
高岡小学校	67	67	66	57	49
田原小学校	483	474	483	487	482
八千種小学校	150	149	137	131	139
計	1,112	1,105	1,109	1,109	1,090

■校医等の報酬

内科医 (4人)	2,122,200円	定期健康診断、就学前健康診断他
歯科医 (4人)	1,407,730円	
眼科医 (1人)	702,850円	
耳鼻科医 (1人)	718,600円	
薬剤師 (3人)	340,900円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位:円)

福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
586,709	576,840	378,517	157,025	1,699,091

■委託料関係

(単位:円)

区分 \ 校名	福 崎 小	高 岡 小	田 原 小	八 千 種 小	計
筆 耕 委 託 料	28,160	2,816	0	7,040	38,016
植 木 剪 定 委 託 料	102,248	105,365	199,980	108,755	516,348
リソグラフ保守管理委託料	87,252	46,200	91,608	36,300	261,360
清 掃 委 託 料	286,000	174,000	120,000	120,000	700,000
警 備 委 託 料	284,592	284,592	284,592	284,592	1,138,368
電気設備管理委託料	199,320	118,800	192,830	188,760	699,710
貯水槽管理委託料	55,000	73,700	96,800	74,800	300,300
給食用昇降機点検委託料	95,700	66,000	66,000	66,000	293,700
消防設備点検委託料	37,345	37,345	37,345	37,345	149,380
プール循環装置点検委託料	0	13,200	13,200	13,200	39,600
エレベーター点検委託料	580,800	—	—	—	580,800
小学校体験活動事業委託料	764,224	367,681	1,065,158	402,387	2,599,450
害虫駆除委託料	0	0	0	49,500	49,500
計	2,520,641	1,289,699	2,167,513	1,388,679	7,366,532

※ PCB廃棄物処理委託 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、保管事業者として適正に処理しました。

処理委託料 1,416,800円 (委託先: 中間貯蔵・環境安全事業株式会社)

処理運搬委託料 297,000円（委託先：日本通運株式会社神戸支店）

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業です。町内全小学校5年生180人が2班に分かれ、兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施日数を2泊3日（前半：10/26～10/28、後半：10/28～10/30）に縮小し、自然観察、昼食作り、レザークラフト体験等充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

■借上料

福崎小学校敷地借上料（638.28坪） 1,320,610円
 小学校コンピュータ等借上料 24,399,684円

■備品購入関係

国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、新型コロナウイルス感染症予防対策のための一般備品の購入、教科書全面改訂に伴う教師用教科書・指導書等の教材備品、図書等を購入し、各校の充実を図りました。

（単位：円）

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	事務局	計
一般備品		422,356	490,138	862,063	303,352	1,495,647	3,573,556
教材備品		824,296	325,501	799,512	400,220	8,221,143	10,570,672
図書購入費		252,582	398,123	120,670	261,613	0	1,032,988
計		1,499,234	1,213,762	1,782,245	965,185	9,716,790	15,177,216

■負担金関係 体験農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り） 1人150円
 〃（田植え）1人150円 （稲刈り）1人300円
 〃（もち麦種まき・もち麦刈取り）1人250円

学校名	いも植え (人)	いも掘り (人)	田植え (人)	稲刈り (人)	もち麦種まき (人)	もち麦刈取り (人)	入園料(円)
福崎小	—	121	63	63	62	60	77,000
高岡小	—	30	19	19	—	—	13,050
田原小	—	79	—	87	—	—	37,950
八千種小	—	—	—	—	—	—	—
計	—	230	82	169	62	60	128,000

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。自然学校では、5年生が自然の中での宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

これからも継続して、理科教育設備整備費等補助金等を活用し、備品の整備に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支税金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
140,443,000	131,936,563	15,894,000		830,000	115,212,563

事業名／小学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆取組内容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕、屋内消火栓設備等消防設備関連器具の更新等を行いました。

また、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、音楽室等に空調設備を整備しました。

■修繕関係

(単位:円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎小	グラウンド出入口防球ネット張替	209,000	2,892,560
	プール水循環装置入替	2,138,400	
	校長室エアコン取替	330,000	
	高架水槽湯水調査・修理	52,800	
	家庭科室実習台水栓修理	162,360	
高岡小	チャイム設備改修	313,500	363,770
	プールシャワー配管凍結破損修理	50,270	
田原小	運動場南側フェンス張替改修等	1,282,600	1,532,137
	教室ドアガラス入替	249,537	
八千種小	駐車場照明改修	264,825	1,963,225
	屋上漏水修繕	396,000	
	プール設置消火用採水口取替	546,700	
	校長室エアコン取替	550,000	
	職員室エアコン修繕	205,700	
合 計			6,751,692

■業務委託料	特別教室 空調設備設計業務委託	44,000円
	福崎小学校プール清掃業務委託	50,000円

■工事請負費

(単位：円)

学校名	内 容	金 額	各校等合計
福崎小	外トイレシャッター設置	297,000	297,000
高岡小	放送設備更新	1,210,000	1,210,000
田原小	特別支援教室エアコン新設	220,000	3,126,200
	理科室エアコン新設	880,000	
	受電設備更新	1,837,000	
	道路反射鏡設置	189,200	
八千種小	回転ジム解体撤去	130,900	894,300
	駐車場区画線設置	114,400	
	特別支援教室エアコン新設	649,000	
4校	空調設備緊急整備事業（5教室、受電設備1か所）	10,340,000	10,340,000
合 計			15,867,500

■備品関係	各小学校消防設備関連器具（更新）購入	413,121円
	福崎小学校北校舎LAN環境整備	44,000円

□効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。また、空調設備を特別教室等に緊急整備することで、児童の感染症対策並びに学習保障を図ることができました。

□課題・改善

学校での安全安心な生活に寄与するため、不具合が生じている箇所等については修繕することができましたが、今後の老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
23,180,000	23,170,313	13,920,000			9,250,313

事業名／小学校施設長寿命化改良事業

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町学校施設等長寿命化計画に基づき、福崎小学校北校舎の長寿命化改修工事を実施しています。改修工事を行うことで、経年劣化による損耗や機能低下に対する機能回復、耐用性、快適性、省エネ性を確保することができます。

◆事業の成果

福崎小学校北校舎の外壁改修、3階の内装工事等が完了し、令和2年度末の進捗状況は40%です。

1階・2階の内装工事、トイレ、階段などの共用部分、外構工事等並びに監理業務委託を繰越明許費として令和3年度に繰り越しました。

■福崎小学校北校舎長寿命化改修工事

契約金額：351,450,000円（請負者：平錦建設株式会社）

・R2事業費 281,159,500円（R3繰越事業費140,580,000円）

R 2 支払額 140,579,500円 (うち学校施設環境改善交付金 32,642,000円)

・ R 3 事業費 70,290,500円

■福崎小学校北校舎長寿命化改修工事監理業務委託

契約金額 : 5,148,000 円 (請負者 : 株式会社村上建築設計室)

・ R 2 事業費 4,118,400円 (R 3 繰越事業費2,060,000円)

R 2 支払額 2,059,200円

・ R 3 事業費 1,029,600円

□効果・達成度

改修工事、工事監理業務の契約締結が完了し、事業を進めることができました。

□課題・改善

工事を円滑にすすめるために、学校・工事関係者との協議を頻繁に実施するとともに、周辺住民等へ工事説明等を丁寧に行っています。

また、校舎を利用しながらの工事施工になりますので、進捗状況にあわせて教室の移動など、適切かつ的確に行っています。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
285,280,000	142,638,700	32,642,000	40,400,000		69,596,700

事業名／G I G Aスクール事業【令和元年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

G I G Aスクール構想を推進するため国の「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用して、小学校に校内通信ネットワークを整備するとともに、電源キャビネットを整備するための経費です。

◆事業の成果

小学校4校の普通教室、特別教室、体育館等に校内通信ネットワークと普通教室に電源キャビネットの整備を完了しました。

■工事請負費

(単位:円)

工 事 名	箇 所	内 容	金 額	請負者
校内通信ネットワーク整備工事費	小学校4校	校内配線、電源、無線AP設置等	35,887,000	(株)ニチワ姫路支店

■備品購入費

(単位:円)

品 目 名	箇 所	内 容	金 額	納入者
電源キャビネット購入	小学校4校	普通教室に設置	15,144,580	(株)ニチワ姫路支店

□効果・達成度

G I G Aスクール構想による1人1台端末の導入にあたり、基礎的なインフラである校内通信ネットワークと電源キャビネットを整備することができました。

□課題・改善

1人1台端末を使用した授業においてストレスなく稼働しているかを確認しながら、修正する部分が

あれば速やかに対応します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
54,000,000	51,031,580	18,780,000	32,200,000		51,580

事業名／G I G Aスクール事業

◆事業内容(目的・必要性)

G I G Aスクール構想を推進するため国の「公立学校情報機器整備費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、小学校に端末、プロジェクター等の教材備品を整備するとともに、導入した端末の各種設定作業の業務委託、導入時操作研修、学習支援ソフト導入等に要する経費です。

◆事業の成果

小学校4校に端末1,174台他の整備を完了させ、教育ICT環境の促進を図りました。

■手数料等

(単位:円)

業 務 名	業 務 内 容	金 額	請負者
公立学校1人1台 端末設置等業務委託	端末初期設定等、学習支援ソフト等 使用料、端末操作研修委託	17,020,481	(株)ニチワ 姫路支店

■備品購入費

(単位:円)

品 目 名	内 容	金 額	納入者
端 末	Chromebook1,174台(レノボ社製、 11.6インチ、タッチパネル可、360度開閉式)	52,689,120	日本電通(株) 神戸支店
プロジェクター	超短焦点、電子黒板機能付き18台 の購入、設置調整等	5,844,300	(株)青井黒板 製作所
モバイルルーター	Wi-Fi環境を持たない家庭への貸出 し用68台	673,200	KDDIまとめて Wi-Fi関西(株)
ビデオカメラ一式	ビデオカメラ、三脚等 4式	227,920	(株)くれよん
マグネットスクリーン	黒板に貼り付けて、画像の色彩を確 保するために導入18台	498,300	トップマンナガ タ教材(株)
計		59,932,840	

□効果・達成度

G I G Aスクール構想によって1人1台の端末を導入するとともに、プロジェクターの設置、学習支援ソフトの導入等、教育のデジタル化を図ることができました。

□課題・改善

1人1台端末の効果的な利活用を促進し、更なる環境整備に努める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
77,095,000	77,068,879	77,068,480			399

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
2.小学校費	2.教育振興費	8,502,000 ^円	7,879,455 ^円	622,545 ^円

心身に障がいをもつ児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

事業名／小学校教育振興事業、小学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総◆ 取組内容	特別支援教育の充実	

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

福崎小 5学級(知的、自閉症・情緒①②、難聴、肢体)

高岡小 1学級(知的)

田原小 5学級(知的、自閉症・情緒①②、弱視、肢体)

八千種小 3学級(知的、自閉症・情緒、難聴)

■学校別児童数調(特別支援学級)

R2.5.1現在(単位:人)

校名	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
福崎小学校		4	3	0	10	2	4	23
高岡小学校		0	0	1	0	1	0	2
田原小学校		5	3	8	7	2	1	26
八千種小学校		1	0	2	0	3	3	9
計		10	6	11	17	8	8	60

■備品購入費

(単位:円)

区分	校名	福崎小	高岡小	田原小	八千種小	計
一般備品		211,198	0	110,880	150,084	472,162
教材備品		244,100	98,400	284,999	135,025	762,524
計		455,298	98,400	395,879	285,109	1,234,686

■就学援助費支給状況

経済的理由等で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

扶助内容	援助人数	金額(円)
学用品	122	1,321,752
修学旅行	21	325,710
新入学学用品	26	870,520
給食費	120	1,596,424
P T A 会費	60	128,000
卒業アルバム代等費	14	130,300
計		4,372,706

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,502,000	7,879,455	428,000			7,451,455

1次評価：A

(3) 中学校費

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	繰越明許費	不 用 額
3. 中学校費	1. 学校管理費	147,133,000 ^円	141,171,246 ^円	2,000,000 ^円	3,961,754 ^円

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、会計年度任用職員に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。4月と5月を臨時休業とし夏休みを短縮して学習時間にあてるなど学校生活はコロナの影響を大きく受けましたが、手指消毒やマスクの着用など感染予防を徹底しながら学校活動を継続しました。

事業名／中学校管理事業・中学校校外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取 組 内 容	教育環境の向上（情報機器の更新・拡充）	
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	②学校教育の充実
総◆ 取 組 内 容	道徳教育のさらなる充実、ふるさと学習の継続	

◆事業内容(目的・必要性)

学校教育法に定める目標及び目的達成のための中学校教育を推進しました。

◆事業の成果

小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中学校で実施する教育の目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

R 2. 5. 1 現在 (単位:人)

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計	教 員	事務職・栄養教諭等
福崎西中学校	91	65	66	222	22	2
福崎東中学校	90	106	107	303	24	3
計	181	171	173	525	46	5
令和元年度	171	175	198	544	44	4

■中学校別生徒数の推移

R 2. 5. 1 現在 (単位:人)

学 校 名	H28	H29	H30	R1	R2
福崎西中学校	235	240	234	216	222
福崎東中学校	337	332	338	328	303
計	572	572	572	544	525

■校医等の報酬

内科医（2人）	1,061,480円	定期健康診断他
歯科医（2人）	631,150円	
眼科医（1人）	352,150円	
耳鼻科医（1人）	356,650円	
薬剤師（2人）	97,400円	教室の空気環境検査、飲料水の水質検査、食器洗浄検査

■施設修繕料

(単位：円)

福崎西中学校	福崎東中学校	計
968,234	971,848	1,940,082

■委託料関係

(単位：円)

区分	校名	福崎西中	福崎東中	計
筆耕委託料		23,232	0	23,232
植木剪定委託料		300,000	350,000	650,000
リソグラフ保守管理委託料		91,344	87,252	178,596
「トライやる・ウィーク」推進事業委託料		400,000	600,000	1,000,000
清掃委託料		115,000	420,000	535,000
警備委託料		284,592	284,592	569,184
電気設備管理委託料		188,760	188,760	377,520
貯水槽管理委託料		106,700	99,000	205,700
給食用昇降機点検委託料		33,000	33,000	66,000
消防設備点検委託料		40,150	40,150	80,300
プール循環装置点検委託料		13,200	13,200	26,400
エレベーター点検委託料		448,800	—	448,800
計		2,044,778	2,115,954	4,160,732

■借上料

中学校コンピュータ等借上料 14,780,412円

■備品購入費関係

国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、新型コロナウイルス感染症予防対策のための一般備品の購入、教材備品、図書等を購入し、各校の充実を図りました。

(単位：円)

区分	校名	福崎西中学校	福崎東中学校	事務局	計
一般備品		1,126,950	869,320	1,189,469	3,185,739
教材備品		213,070	613,063	247,960	1,074,093
図書購入費		255,134	299,996	0	555,130
計		1,595,154	1,782,379	1,437,429	4,814,962

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
68,236,000	63,859,182	6,949,000		270,000	56,640,182

事業名／中学校施設整備・補修事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総◆ 取 組 内 容	計画的な学校施設の長寿命化	

◆事業内容(目的・必要性)

学校施設の補修等に要した経費です。

◆事業の成果

老朽化等による不良箇所の更新及び修繕、消火器の更新等を行いました。

また、国の「学校保健特別対策事業費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、音楽室に空調設備を整備しました。

■施設補修関係

(単位:円)

学校名	内 容	金 額	各校合計
福崎西中	体育館多目的トイレ入口扉改修	297,000	1,358,995
	配膳室長尺シート張替	299,805	
	体育館音響機器修繕	286,000	
	配膳室配管工事	96,800	
	技術室シロアリ被害巾木等修繕	119,900	
	グラウンド他手洗場給水管凍結破損修理	259,490	
福崎東中	生徒昇降口露筋修繕	264,000	4,537,500
	体育館LED照明器具取替	198,000	
	グラウンド南側フェンス修繕	4,075,500	
合 計			5,896,495

■業務委託料	特別教室 空調設備設計業務委託	22,000円
	福崎西中学校 シロアリ駆除業務委託	146,300円

■工事請負費

(単位:円)

学校名	内 容	各校等合計
福崎東中	体育館窓ガラス改修工事	1,199,000
2校	空調設備緊急整備事業(2教室)	3,421,000
合 計		4,620,000

■備品関係	福崎西中学校 牛乳用冷蔵庫(更新)購入	434,500円
	福崎東中学校 消防設備関連器具(更新)購入	72,600円

効果・達成度

老朽化等により不具合が生じている箇所または生じる恐れのある箇所について、修繕することができました。また、空調設備を特別教室に緊急整備することで、生徒の感染症対策並びに学習保障を図ることができました。

課題・改善

今後の老朽化等による補修の必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11,200,000	11,191,895	4,619,000			6,572,895

事業名／G I G Aスクール事業【令和元年度から繰越】

◆事業内容(目的・必要性)

G I G Aスクール構想を推進するため国の「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」を活用して、中学校に校内通信ネットワークを整備するとともに、電源キャビネットを整備するための経費です。

◆事業の成果

中学校2校の普通教室、特別教室、体育館等に校内通信ネットワークと電源キャビネットの整備を完了しました。

■工事請負費

(単位:円)

工 事 名	箇 所	内 容	金 額	請負者
校内通信ネットワーク整備工事費	中学校2校	校内配線、電源、無線A P設置等	21,313,000	(株)ニチワ姫路支店

■備品購入費

(単位:円)

品 目 名	箇 所	内 容	金 額	納入者
電源キャビネット購入	中学校2校	普通教室に設置	7,131,520	(株)ニチワ姫路支店

□効果・達成度

G I G Aスクール構想による1人1台端末の導入にあたり、基礎的なインフラである校内通信ネットワークと電源キャビネットを整備することができました。

□課題・改善

1人1台端末を使用した授業においてストレスなく稼働しているかを確認しながら、修正する部分があれば速やかに対応します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
30,000,000	28,444,520	7,500,000	15,800,000		5,144,520

事業名／G I G Aスクール事業

◆事業内容(目的・必要性)

G I G Aスクール構想を推進するため国の「公立学校情報機器整備費補助金」、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、中学校に端末、プロジェクター等の教材備品を整備するとともに、導入した端末の各種設定作業の業務委託、導入時操作研修、学習支援ソフト導入等に要する経費です。

◆事業の成果

中学校2校に端末576台他の整備を完了させ、教育ICT環境の促進を図りました。

■手数料等

(単位：円)

業務名	業務内容	金額	請負者
公立学校1人1台 端末設置等業務委託	端末初期設定等、学習支援ソフト等 使用料、端末操作研修委託	8,298,769	(株)ニチワ 姫路支店

■備品購入費

(単位：円)

品目名	内容	金額	納入者
端末	Chromebook576台(レノボ社製、 11.6インチ、タッチパネル可、360度開閉 式)	25,850,880	日本電通(株) 神戸支店
プロジェクター	超短焦点、電子黒板機能付き9台の 購入、設置調整等	2,702,700	(株)青井黒板 製作所
モバイルルーター	Wi-Fi環境を持たない家庭への貸出 し用32台	316,800	KDDIまとめて オフィス関西(株)
ビデオカメラ一式	ビデオカメラ、三脚等 2式	113,960	(株)くれよん
マグネットスクリーン	黒板に貼り付けて、画像の色彩を確 保するために導入9台	282,150	トップマンナガ タ教材(株)
計		29,266,490	

□効果・達成度

GIGAスクール構想によって1人1台の端末を導入するとともに、プロジェクターの設置、学習支援ソフトの導入等、教育のデジタル化を図ることができました。

□課題・改善

1人1台端末の効果的な利活用を促進し、更なる環境整備に努める必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
37,697,000	37,675,649	37,675,520			129

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
3.中学校費	2.教育振興費	5,088,000 ^円	4,482,703 ^円	605,297 ^円

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

事業名/中学校教育振興事業・中学校教育振興枠外事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	2 学校教育	② 学校教育の充実
総	◆ 取組内容	特別支援教育の充実

◆事業内容(目的・必要性)

障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。

教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。

◆事業の成果

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中 1学級 (知的)

東中 3学級 (知的、自閉症・情緒・肢体)

■学校別生徒数調 (特別支援学級)

R2 . 5 . 1 現在 (単位:人)

校名 \ 学年	1年	2年	3年	計
福崎西中学校	0	0	1	1
福崎東中学校	4	1	6	11
計	4	1	7	12

■備品購入費

(単位:円)

区分 \ 校名	福崎西中学校	福崎東中学校	計
一般備品	0	100,260	100,260
教材備品	0	42,240	42,240
計	0	142,500	142,500

■就学援助費支給状況

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

扶助内容	援助人数	金額(円)
学用品	46	1,035,478
修学旅行	14	374,790
新入学学用品	30	1,156,760
給食費	38	667,899
クラブ活動費	24	433,630
生徒会費	34	24,000
P T A 会費	34	113,400
卒業アルバム代等費	10	88,000
計		3,893,957

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な生徒の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,088,000	4,482,703	178,000			4,304,703

1次評価：B

(4) 社会教育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	1. 社会教育総務費	46,516,000 ^円	44,335,489 ^円	2,180,511 ^円

生涯学習の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	4 青少年健全育成	② 青少年の健全育成の推進
総◆ 取組内容	多彩な学習機会を提供	
II 教育・文化	5 生涯学習	① 生涯学習施設の整備・充実
総◆ 取組内容	バリアフリー化の推進	生涯学習の場を広く提供
II 教育・文化	5 生涯学習	② 情報提供の充実
総◆ 取組内容	積極的な情報の提供	幅広い世代への利用促進
II 教育・文化	5 生涯学習	③ クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総◆ 取組内容	誰もが学習できる場と機会の提供	地域社会で生かせるリーダーの養成
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	① 芸術・文化活動の推進
総◆ 取組内容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	地域の文化振興

事業名／社会教育総務一般事務費

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育振興のために、行政と地域住民をつなぐ社会教育委員の会議などの活動を支援しました。また、成人式や吉識雅夫科学賞を新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施し、社会教育の推進に努めました。

◆事業の成果

■社会教育委員会の活動

- ・社会教育委員会（年3回 5/26、11/27、3/30）

社会教育事業の説明や進捗状況報告、施設の視察等で意見をいただき、今後の事業推進の参考とすることができました。

- ・中播磨・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会（10/20）

神河町神河公民館での合同研修会に参加し、講演を拝聴し社会教育委員の教育力の向上を図りました。

演題：「都市計画と歴史文化」

講師：株式会社スペースビジョン研究所 代表取締役 徳勢 貴彦 氏

■成人式 1月11日（月・祝） 該当者226人中162人の参加

新成人代表11人による実行委員会を組織しました。コロナ禍で開催が懸念されましたが、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを実行委員が積極的に進めました。今回の会場は、式典会場の文化センターを使って開催時間の短縮に努めるなど、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施しました。

- ・第1部 成人式式典
- ・第2部 アトラクション（お楽しみ抽選会）

■第13回吉識雅夫科学賞

吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的

として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して賞を贈りました。今回は、コロナ禍で夏休み期間が短縮されたため、希望者のみの出品となりました。

・小学校低中学年の部

山本結菜（田原小学校3年生） 作品名「サイフォンの原理」

・小学校高学年の部

荒瀬ほのか（田原小学校6年生） 作品名「ミニトマトの無限栽培に挑戦！」

・中学校の部

大塚みつき（福崎東中学校3年生） 作品名「よみがえる植物」

□効果・達成度

コロナ禍ではありましたが、社会教育委員会、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。令和2年度の成人式の出席率は約72%でした。式典会場には新成人の家族が入場できませんでしたが、後日、成人式の模様を動画サイトを利用して視聴いただく対応を行いました。吉識雅夫科学賞では、短い夏休み期間にもかかわらず、24作品の応募がありました。作品は、地域住民へのさらなる周知を図るため、図書館において、吉識雅夫先生の功績を紹介するコーナーも設け、児童・生徒の研究成果を展示発表しました。

□課題・改善

今後も、社会教育委員と共に地域のニーズを把握し、社会教育の推進を図ります。成人式では、場外でも式典を見ることができるよう検討を行います。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,806,000	1,342,075				1,342,075

事業名／地域ぐるみ教育支援事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	2 学校教育	①教育環境の整備
総 ◆ 取 組 内 容	地域ヘルパー、スクールヘルパーとの連携	

◆事業内容(目的・必要性)

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・ウィンタースクール等の教育支援活動、登下校時の見守りや校内巡視、学校から依頼を受けて行う図書貸し出し等の学校支援活動です。

◆事業の成果

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

【ヘルパー活動】

スクールヘルパー … 午前・午後各3～5人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー … 登下校時の見守り（1自治会で2～3か所）

	スクールヘルパー	地域ヘルパー
福崎小学校（135人）	毎週火・木曜日	毎週金曜日
高岡小学校（43人）	毎週水曜日	毎週水曜日
田原小学校（122人）	毎週月・水・金曜日	週 3 回
八千種小学校（71人）	毎週火・木曜日	毎週水曜日

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

- ・土曜英語教室 小学3・4・5・6年生対象

令和2年10月から令和3年3月までの土曜日 各校区月1回

会場：高岡県民交流広場、文化センター、サルビア会館、八千種県民交流広場

- ・ウィンタースクール 中学3年生対象

令和2年10月17日(土)～令和3年3月6日(土)の土曜日のうち2日間のみ実施

会場：文化センター

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サマースクールは中止しました。

また、図書貸出等を行う学校支援ボランティア活動は、学校から依頼がなかったため、実施していません。

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保ができました。活動を通して子どもたちと地域ボランティアがふれあうこともできました。また、土曜日に地域の力を借りて学習の場を提供することもできました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
地域スクールヘルパー登録者数	428	434	395	354	371	470

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めます。また、学習申込者に継続して参加していただけるように、内容を工夫していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
780,000	487,008	292,000			195,008

事業名／青少年健全育成関係事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
II 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	家庭の教育力向上、子育て支援や家庭教育の啓発 積極的な非行防止・環境浄化活動	青少年やその家族などへの相談支援

◆事業内容(目的・必要性)

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人権・青少年健全育成研修会及び、人権・青少年健全育成フェスティバルは中止しました。

◆事業の成果

■青少年問題協議会の開催（年2回 7/13、3/2）

青少年健全育成に関する取り組みや現状・課題についての報告を受け、今後の取り組みの参考となる情報共有を図ることができました。

■青少年健全育成啓発リーフレットの作成（各戸、町内店舗等に配布） 6,300枚 16,276円

■青少年補導委員会活動状況

- ・定例会 11回
- ・街頭補導（下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等）

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
街頭補導回数	86回	78回	66回

□効果・達成度

コロナ禍ではありましたが、自治会研修会は11自治会で実施され、学校の先生方の参加により、町民に子どもたちの学校での様子等について知っていただきました。また、啓発リーフレットの作成や街頭補導などの啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることができました。

□課題・改善

今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施し、子どもたちの健全な成長を支援していきます。子どもの犯罪被害やインターネットの正しい利用に関する情報などについて啓発リーフレットを用いて町民へ周知します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,829,000	2,642,991				2,642,991

事業名／家庭教育学級開設事業

◆事業内容(目的・必要性)

幼稚園（4園）・小学校（4校）・中学校（2校）の保護者会会員・PTA会員を対象に、各保護者会・PTA学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応するため、学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等を1年通して実施しました。

◆事業の成果

■家庭教育学級開設事業（幼稚園・小中学校）

報償費 45,000円
委託料 276,833円

□効果・達成度

コロナ禍であったため、事業がすべて計画通りとはいきませんでした。対策を施しながら学級開設を行い、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、保護者の子育て力向上を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
640,000	321,833				321,833

事業名／各種団体育成事業

◆事業内容(目的・必要性)

社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町PTA、町文化協会への補助金です。

◆事業の成果

■負担金

- ・神崎郡美術協会負担金 23,000円
- ・神崎郡連合PTA協議会負担金 57,000円

■補助金

- ・福崎町PTA協議会補助金 80,000円
- ・福崎町文化協会補助金 400,000円

□効果・達成度

町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を円滑に実施することができました。

□課題・改善

今後も継続して実施し、社会教育活動の活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
560,000	560,000				560,000

事業名／こころ豊かな地域づくり推進事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総	◆ 取 組 内 容	学校支援地域本部事業の推進(地域教育力の向上)

◆事業内容(目的・必要性)

こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成するための事業を実施しました。

◆事業の成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～5月はすべての活動を中止しました。

■福崎町ココロクラブ

年間7回(6月～11月、3月の毎月1回)役場及びもちむぎのやかた周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。

■みどりのグループ

年間を通じて、毎月2回、町内の4か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。

■福崎町手芸ボランティア

趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。

■国際食文化交流の会

福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、2か月に1回、料理を通して国際交流を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できませんでした。

■たんぽぽ

子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。

■ふくさき日本語ボランティアの会(ふくさき日本語サロン)

町内在住・在勤の外国人を対象に、日本語や生活習慣に関する学習を毎月2回、学習者のレベル別にグループ学習を行いました。

□効果・達成度

活動ができない団体もありましたが、“住みよいまちづくり”をめざして、ボランティア活動に熱心

に取り組んでいただき、こころ豊かなまちづくり・人づくりや美しい景観・コミュニティづくりが推進できました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
日本語サロン受講者数(年間)	370	658	560	192	88	700
第2期総合戦略アクションプランKPI	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R6)
日本語サロン平均受講者数(1回当たり)	14	27	25	9	4	30

□課題・改善

ふくさき日本語サロンでは、企業内での学習機会が増えたこと、また、コロナ禍により参加人数が減少しています。今後は、企業へ情報提供をするなど周知に努めます。

また、ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広げて新規会員の加入促進に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
385,000	225,668				225,668

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社会教育費	2. 公民館費	1,851,000 ^円	1,116,315 ^円	734,685 ^円

町民が主体的に学習したり、芸術文化に触れるための講座や教室を開講し、生涯学習の場を提供することを目的としています。

事業名／公民館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総 ◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	住民企画事業の実施	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	学習成果発表の場の充実(公民館クラブなど)

◆事業内容(目的・必要性)

町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、地域住民に活動の場と交流の機会を提供するため、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行うことを目的にしています。

◆事業の成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

(令和2年4月1日現在)

登録会場名	登録クラブ数 (クラブ)	町内会員数(人)	町外会員数(人)	活動人数(人)
文化センター 会 場	34	332	89	421
八千種研修 センター会場	16	158	28	186
地 区 会 場	24	155	36	191
合 計	74	645	153	798

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を利用されました。

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、一時期、社会教育施設が臨時休館となりました。再開後も感染拡大防止のため、開館時間が短縮されるなど、文化活動や地域交流が制限され、思うように事業の展開ができない中、最善の感染対策を取りながらの施設運営となりました。

□課題・改善

今後も感染防止対策を取った利用方法を周知徹底しながら、公民館クラブ会員の増加、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,060,000	805,287				805,287

事業名／老人大学事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	
Ⅳ 健康・医療・福祉	3 高齢者福祉	④生きがいつくりと社会参加の促進
総 ◆ 取 組 内 容	活動の場の確保を支援（高齢者の自主的組織）	

◆事業内容(目的・必要性)

高齢者がともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的としています。

◆事業の成果

町内外問わず、幅広く受講生を募集しましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、やむなくすべての専門講座、一般教養講座を中止しました。

□効果・達成度

老人大学事業をすべて中止したことにより、学習の場、受講生の交流機会の場の提供を行うことができませんでした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
老人大学受講者数	296	296	300	318	中止	360

□課題・改善

新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら最善の感染対策を取って講座を開講し、生きがいつくりの場の支援を行っていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
280,000	64,683				64,683

事業名/セミナー事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③クラブ活動・学習成果発表の場の充実
総 ◆ 取 組 内 容	誰もが学習できる場と機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民が現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施し、有益な知識や情報を提供することを目的にしています。

◆事業の成果

■サルビアセミナー

受講生を募り、年間10回の講座を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなくすべての講座を中止しました。

□効果・達成度

受講生の知識習得や交流のための場を提供することができませんでした。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
セミナー受講者数	177	178	174	174	中止	220

□課題・改善

新型コロナウイルス感染拡大状況を見ながら最善の感染対策を取って講座を開講していきます。アンケート調査等を実施し、講座内容の創意工夫に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
230,000	19,614				19,614

事業名/美術展事業

◆事業内容(目的・必要性)

美術展を開催し、優れた芸術作品に親しみ、地域住民の芸術文化への関心を高めることを目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく第38回福崎町美術展を中止しました。日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができませんでした。

□課題・改善

会場の感染防止対策を講じて美術展を実施し、作品応募数及び来場者数が増えるよう、広報活動に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
250,000	226,731				226,731

1次評価：A

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社 会 教 育 費	3. 図 書 館 費	54,312,000 ^円	52,909,344 ^円	1,402,656 ^円

図書や雑誌、視聴覚資料等のメディアや情報資料を収集、保管し、利用者への提供により、教養や地域研究、レクリエーション等に資することを目的とした図書館の管理・運営に要した経費です。

事業名／図書館管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の学習・調査研究を行う情報拠点として、また、各種講座やイベント、ボランティア活動等を通じた学習発表の場として、安全で快適に利用していただくため、適切な施設管理に努めました。

◆事業の成果

図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設等の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は次のとおりです。

- ・多目的トイレ水漏れ修理 (31,900円)
- ・ウッドデッキ椅子修理 (13,200円)
- ・男子トイレ手洗い石鹸入れ固定作業 (12,650円)
- ・駐車場入口案内看板取替 (53,680円)

また寒波の影響で、屋上で漏水し、修理を行いました。

- ・消火補給水槽給水管及び空調用膨張配管 (269,500円)
- ・エコアイス給水管 (110,000円)

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4・5月は臨時休館や制限付きでの貸出により利用が大幅に減少しました。しかしその後は、外出自粛等による家で過ごす時間が増えたことで、利用も徐々に回復しています。

また、子どもの読書活動推進は、臨時休校等により図書館見学やおはなし会を実施できていない小学校があり、図書館に来館しない子どもへの読書習慣づくりが推進できませんでした。

□課題・改善

開館から15年が経過し、各設備等に傷みが出てきているため、補修を要する箇所を早期に発見し、修繕をすることで、施設の耐久性延伸を図る必要があります。定期的な点検、補修を継続して実施することで、安心して利用できる施設をめざします。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,985,000	10,405,678			4,200	10,401,478

事業名/図書館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 効率的で効果的な行政運営	②行政サービスの向上
創行 ◆ 取 組 内 容	図書館の相互利用促進 (播磨圏域連携中枢都市圏)	
II 教育・文化	5 生涯学習	②情報提供の充実
総 ◆ 取 組 内 容	イベントの実施、蔵書構成	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行うため、資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。

コロナ禍による家で過ごす時間を読書や新たな趣味に費やしてもらえるよう、興味を持ってもらえる特集棚づくりに努めました。

また、より安心して図書館資料を利用していただくため、ほこりやウイルスを除去する図書消毒機を設置しました。

- ・LIVA図書消毒機 (1,122,000円)

◆事業の成果

図書館おばけやしきやキャンドルナイト等、図書館を知るきっかけとなるイベントの実施により、図書館を身近に感じ、そこにある本に親しむ環境づくりをすることにより読書活動の推進に努めました。

■子ども向け行事

- たなばた笹飾り
- 図書館おばけやしき
- 図書館クリスマス会・クリスマスコンサート
- お正月準備！工作教室
- 図書館であそぼ会

■大人向け行事

- キャンドルナイト
- 絵本読み聞かせ講座

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました。(200,000円)

■貸出冊数・貸出人数

	貸出人数(人)	貸出点数(点)	年度末登録者数(人)
平成30年度	46,748	230,993	17,366
令和元年度	43,451	218,360	18,061
令和2年度	39,578	204,302	18,742

□効果・達成度

令和2年度末の蔵書点数は、157,607点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」「おはなし会」等は、実施できない月もありましたが、図書館応援隊と協力しながら、子どもたちに参加してもらい、絵本や読書の楽しさを伝えることができました。

貸出冊数、人数ともに、臨時休館等が影響して減少しています。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
図書館貸出人数	48,474	46,224	46,748	43,451	39,578	50,000
第2期総合戦略アクションプランKPI	第1期(H27~R1)実績				R2	目標(R2~R6)
図書館町外登録者数(累計)	4,437人(目標:4,200人)				427	2,000

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、本に触れる機会を増やし、子どもの読書活動を推進していきます。

新しい生活様式の自宅で過ごす時間が見直されている今、図書館来館のきっかけとなるイベントの実施や、続けて利用しようと思ってもらえるような書架づくりに努めます。

予算額	決算額	財源内訳(単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26,499,000	26,235,926	1,122,000		200,000	24,913,926

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	4.文化センター管理費	31,843,000 ^円	30,760,453 ^円	1,082,547 ^円

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

事業名/文化センター管理事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総	◆取組内容	施設の開放、利用促進

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民の文化意識の向上を図るため、学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点である文化センターの効率的な管理運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和2年度は施設の維持補修として、大ホール舞台緞帳・紋緞帳撤去工事(211,200円)、大ホール吊天井修繕工事(187,000円)、館内非常灯取替工事(203,500円)等を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第37号」を刊行し、各戸配布しました。

■文化センターの利用状況

	有料及び無料使用件数				合計 (件)	使用料 (円)	利用者数 (人)
	有料 (件)	無料 (件)					
		町関係他	公民館	教委			
平成30年度	255	178	923	546	1,902	830,188	35,768
令和元年度	319	175	704	401	1,599	901,528	31,547
令和2年度	398	122	605	252	1,377	917,580	17,089

□効果・達成度

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、一時期、臨時休館としたり、夜間の利用時間を制限しながらの開館となりました。また、手指消毒液や体温計を設置し、利用定員を減らしたり、座席間の確保等の対策を呼びかけながら利用いただきました。

利用頻度や緊急性を鑑みながら適切な補修を行い、施設の安全管理に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化が進み、抜本的な施設改修が必要となってきています。利用者が高齢化していることもあり、安全面や利便性の向上を最優先に検討していきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,878,000	7,494,145			917,580	6,576,565

1次評価：B

項	目	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
4. 社会教育費	5. エルデホール 運 営 費	38,629,000 ^円	37,007,151 ^円	1,621,849 ^円

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

事業名／エルデホール管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総	◆ 取 組 内 容	施設の開放、利用促進

◆事業内容(目的・必要性)

エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。施設及び設備の利用を通して地域住民により高い水準の文化活動の場を提供するため、地域住民が安心して利用できる施設となるよう施設の管理運営を行いました。

◆事業の成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

年度			メインホール	イベントホール	洋 室	スタジオ	ホワイエ	屋外舞台
H30年度	開館日数 308	利用日数(日)	181	131	219	146	106	13
		稼働率(%)	58.77	42.53	71.10	47.40	34.42	4.22
R1年度	開館日数 205	利用日数(日)	128	114	136	92	80	12
		稼働率(%)	62.44	55.61	66.34	44.88	39.02	5.85
R2年度	開館日数 272	利用日数(日)	90	84	104	60	45	10
		稼働率(%)	33.09	30.88	38.24	22.06	16.54	3.68

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。1日に複数の利用者があっても1としています。

年度	貸館使用料収入	使用回数	利用者数
H30年度	3,197,485円	899回	49,842人
R1年度	2,202,923円	615回	31,923人
R2年度	1,458,930円	395回	16,108人

■主な施設修繕費

開館から30年近くが経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。利用者に影響を及ぼす箇所を優先し平成28年度から徐々に修繕・更新を図っています。

令和2年度は、水道や空調設備の利用に支障をきたす懸念があった屋上の貯水槽等を集中的に補修しました。主な修繕費に係る経費は下記のとおりです。

- ・屋上貯水槽F号ボールタップパイロット管修理(248,600円)
- ・屋上消火補給水槽用加圧ポンプ修理(225,500円)
- ・屋上空調機用Φ25給水管凍結修理(220,000円)

□効果・達成度

トイレや空調設備に不具合が発生していましたが、貯水槽まわり等を一括して修繕したことにより水まわり、空調設備とも不具合が解消され、来館者に快適に過ごしていただくことができました。

□課題・改善

施設の老朽化により、修繕の必要箇所が増えてきています。また耐用年数が過ぎている機器などが多く、安全面や運営面からも更新が必要となっています。緊急を要する箇所を洗い出し計画的に修繕や更新を行います。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
17,877,000	16,988,332			1,458,930	15,529,402

事業名／エルデホール自主公演事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	①芸術・文化活動の推進
総 ◆ 取 組 内 容	幅広い年代層が参加できる芸術・文化活動の展開	文化・芸術に触れる機会を創出

◆事業内容(目的・必要性)

公演を通じて、地域住民に人生の生きがいと楽しみを提供できる機会をつくることを目的に、自主事業を実施しました。事業は、地域の参加者が多い事業、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事

業等、テーマ別に実施しました。

◆事業の成果

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために4回の自主公演事業と1回のミニイベント（ピアノ弾き放題）を実施しました。これに伴う入場料収入の合計は779,340円でした。

・自主事業一覧

実施日	内容	人数(人)
10月17日(土)	826aska ElectoneLIVE2020	156
10月25日(日)	エルデ秋の映画祭	94
12月20日(日)	県民芸術劇場 淡路人形芝居と落語によるかんたん古事記と日本書紀	124
2月20日(土)	月亭方正・八光二人会	156
計		530

□効果・達成度

令和2年度は住民企画事業の実施については見送りました。また、自主事業数については延期もあり4回となりました。様々なジャンルを実施し、幅広い世代の方に芸術とエンターテインメントを楽しんでいただくことができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため公演数を減らし、観客数を制限したため、年間集客人数は前年度比41.2%の減となりました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
自主公演事業平均入場者数	272	282	294	150	133	300

□課題・改善

新型コロナウイルス感染症の影響で公演数、入場者数は減少しましたが、4つの公演を行い芸術文化を楽しんでいただきました。今後も引き続き、人々の生きる活力となるような自主事業を企画、広報し、多くの方にご来場いただけるよう努めます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,026,000	5,632,028			779,340	4,852,688

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	6.研修センター 運営費	6,837,000 ^円	6,634,850 ^円	202,150 ^円

文化センター（中央公民館）の分館で、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている八千種研修センターの管理・運営に要した経費です。

事業名／研修センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域文化の向上、研さんの場として、利用者に安全で快適に利用していただくため、適切な管理・運営を行いました。

◆事業の成果

■施設の維持補修

令和2年度は、施設の維持補修として、空調設備入替工事（660,000円）、1階女子トイレ排水器具取替（80,300円）、多目的トイレ水栓取替（34,100円）、会議室誘導灯取替（60,500円）、Wi-Fiルーター入替（69,300円）を実施しました。

■利用状況

	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)	貸出図書数(冊)
平成30年度	893 (177)	10,149	16,490	1,459
令和元年度	794 (116)	9,368	23,410	790
令和2年度	592 (76)	6,345	17,050	793

第35回八千種研修センターまつりは、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、規模を縮小して令和2年10月17日(土)・18日(日)に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

令和3年度は、小規模な施設改修及び施設の保安管理を進めます。

予算額	決算額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,074,000	3,874,208		500,000	17,050	3,357,158

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	7. 青少年野外活動センター費	7,336,000 ^円	6,524,578 ^円	811,422 ^円

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要した経費です。

事業名／青少年野外活動センター管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
◆ 取 組 内 容	多彩な学習機会の提供	

◆事業内容(目的・必要性)

野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民に自然にふれる機会や交流の場を提供するため、安全快適な施設管理を行いました。

◆事業の成果

■主な施設修繕料

- ・街路灯LED化業務(3式) 825,000円 (請負業者：(有)上月電設)
- ・管理棟事務室エアコン更新 363,000円 (請負業者：高岡電工(株))

■主な委託料

- ・清掃委託料 182,000円 (請負業者：(株)三創、田口区)

- ・警備委託料 142,296円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・電気設備管理委託料 175,560円（請負業者：小國電気設備管理事務所）

■利用状況 (単位：円)

年度	施設利用者数(人)	利用団体数	施設利用料	山小屋	テント	テントサイト	食器類	管理棟・多目的ホール	シャワー	その他(ｼｰ)	合計
平成29年度	7,760	383	992,340	93,975	51,500	30,450	26,775	1,530	90,500	0	1,287,070
平成30年度	6,311	331	975,340	100,200	59,950	31,710	21,650	2,390	80,400	0	1,271,640
令和元年度	8,378	419	1,093,635	128,100	53,560	43,470	38,000	4,590	113,600	0	1,474,955
令和2年度	3,747	389	706,530	58,560	7,700	146,300	12,950	1,650	67,800	63,120	1,064,610

※利用者数は延べ人数で集計しています。

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的とした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、1年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地を生かした広報活動を行う必要があります。令和2年度は多目的グラウンド周辺の街路灯（水銀灯）3式をLED照明に更新しましたが、残りの水銀灯も順次更新します。今後も利用者の安全を図るための取り組みを継続していきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,336,000	6,524,578		700,000	1,064,610	4,759,968

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4.社会教育費	8.人権教育振興費	5,821,000 ^円	4,696,132 ^円	1,124,868 ^円

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化しているなか、新たに、新型コロナウイルス感染症に関連した不当な差別や人権侵害が問題となりました。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表わすことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、自治会研修会をはじめ、家庭や学校において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

また、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざすため、「福崎町男女共同参画基本計画」の効果的な推進と、本計画が5年目の中間年を迎えるにあたり計画の改定を行いました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	1 参画と協働	④男女共同参画社会の実現
総行	◆ 取組内容	男女共同参画社会の形成に向けた各種施策の推進 関係機関との連携、啓発活動の推進 女性委員・公募委員の登用の推進

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
各種委員会等への女性委員登用率	31.8%	33.0%	31.9%	31.3%	31.7%	33.0%

事業名／人権教育振興事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆取組内容	自治会研修会の開催	人権フェスティバルの開催

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民等の人権意識高揚を図るため、自治会研修会が開催されました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人権教育に関する研究大会や講演会が中止となりました。

男女共同参画社会実現のため、「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の周知、啓発を図りました。また、「福崎町男女共同参画基本計画」が10年計画の5年目を迎え、これまでの取り組みの検証結果や社会情勢の変化等を踏まえ中間見直しを行いました。

◆事業の成果

■研修会の開催

- 自治会単位人権・青少年健全育成研修会
11自治会が実施 啓発DVD視聴・講話 参加者：198人

■福崎町男女共同参画の推進

- 国の男女共同参画週間にあわせて広報掲載、図書館に男女共同参画に関する図書コーナー設置
- 女性のための働き方セミナー（県事業の活用）
令和2年9月29日（火） 八千種研修センター 参加者8人
- 女性のためのチャレンジ相談（県事業の活用）
令和2年11月6日（金） サルビア会館 相談者3人
- 福崎町男女共同参画基本計画の改訂版
 - 男女共同参画基本計画策定委員会
 - ・構成：学識経験者、各種団体の代表、公募委員 計11名
 - ・開催数：4回（10/1、11/13、1/13、3/10）
 - ・パブリックコメントの実施
公表・意見募集期間：2/4～2/19
 - 男女共同参画計画策定業務委託料 517,000円
 - 福崎町男女共同参画基本計画（改訂版） 250冊 335,500円
（概要版）7,000冊 261,800円

■負担金

- 神崎郡人権教育研究協議会負担金 305,000円
- 神崎郡人権問題対策協議会負担金 171,000円
- 神崎郡民主化推進連絡協議会負担金 57,000円
- （公財）人権教育啓発推進センター年会費 20,000円

■補助金

- 自治会単位研修会補助金 235,000円

- ・福崎町民主化推進協議会運営補助金 50,000円

□効果・達成度

コロナ禍で開催が難しい状況ではありましたが、11地区で自治会研修会が実施され、「相手を正しく知り、お互いを認め合うことが人権課題の解決につながる」ということを学んでいただくことができました。

県事業を使った「女性のための働き方セミナー」事業では、女性の就業などの新たなチャレンジを後押しすることができました。男女共同参画基本計画の改訂では、検証結果や策定委員会での意見により、今後の方向性を示す内容に改訂することができました。また町民意識調査では、男女共同参画社会に向けた取組成果が徐々に表れています。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
自治会単位研修会への参加者数	1,247	1,065	1,038	960	198	1,300
第2期総合戦略アクションプランK P I	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R6)
女性の働き方セミナー受講者数	—	3	9	13	8	10

□課題・改善

自治会研修会への参加者数は平成29年度以降減少傾向にあります。新たに、新型コロナウイルス感染症に関連した偏見や差別が懸念されます。引き続き、自治会をはじめ、家庭や学校と連携し、人権教育・啓発活動に努め、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に取り組みます。改定した男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを推進します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,280,000	2,704,510				2,704,510

事業名／人権啓発事業

◆事業内容(目的・必要性)

人権意識高揚のため、県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する啓発事業で、県の補助事業です。また、コロナ差別の防止に関するチラシを学校・家庭に配布し、啓発活動に取り組みました。

◆事業の成果

■福崎町人権・青少年健全育成啓発活動

- ・主張・体験発表DVD作成

令和2年12月4日(金) 福崎町文化センター

小中学生の主張・体験発表者4名

- 「正しくおそれる」 田原小学校 6年 黒田 耕平 さん
- 「当たり前にありがとうを」 福崎小学校 6年 垣 なな子 さん
- 「『生きる』ということ」 福崎東中学校 1年 中安 きらり さん
- 「戦争のおそろしさ」 福崎西中学校 3年 山野 駿 さん

- ・展示 人権意識高揚活動記録、人権ポスター・人権標語(12/4～12/11)

■人権啓発冊子

- ・「豊かな心がふれあう活力ある福崎町を目指して」作成・全戸配布 6,500部 308,000円
- ・「元気UPじんけん」 成人式配布 200部 20,000円

■啓発DVDの購入

- ・「カンパニユラの夢」 66,000円

□効果・達成度

コロナ禍で人権・青少年健全育成フェスティバルが中止となりましたが、小中学生の主張・体験発表者4名のビデオ撮影を行い、DVDを作成して各小中学校に教材として配布し、多くの児童生徒に視聴いただき、人権意識を高め、人権に対する理解を深めることができました。

□課題・改善

今後も、継続して人権・青少年健全育成フェスティバルを実施し、多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるような内容を検討します。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
921,000	810,961	266,000			544,961

事業名／人権意識高揚（心の教育）活動委託事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	②青少年の健全育成の推進
総◆ 取 組 内 容	インターネット上での危険未然防止(普及啓発、研修会)	
Ⅱ 教育・文化	6 人権教育	①人権教育・啓発の推進
総◆ 取 組 内 容	いじめをなくす人権意識の高揚 豊かな人間性が育まれる教育の推進	

◆事業内容(目的・必要性)

児童・生徒一人ひとりが、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的に各種事業を実施しました。

◆事業の成果

子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得するには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習（インターネットによる人権侵害についての学習等）を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。

□効果・達成度

コロナ禍で計画通りとはいきませんでした。対策を施しながら、車いす体験、アイマスク体験、人権に関する講演会など各種事業に取り組んでいただきました。身近な人権課題解決のためのグループ討議や講話による学習や清掃ボランティア活動などを通じて、子どもたちの互いの人権を重んじ、「豊かな心と生きる力」を育むことができました。

□課題・改善

今後も適正に努めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,620,000	1,180,661				1,180,661

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	9. 辻川界限文化振興費	55,188,000 ^円	53,399,633 ^円	1,788,367 ^円

辻川界限の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅の管理です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第41回山桃忌、第7回柳田國男検定、柳田國男・松岡家記念館講演会の開催を中止しました。

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
II 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
◆ 取組内容	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用	地域資源の有効活用、魅力発信
V 産業振興	3 観光	①観光資源の発掘・育成・活用
◆ 取組内容	三木家住宅、旧辻川郵便局などの文化財の新しい活用	
V 産業振興	3 観光	②魅力ある観光の推進
◆ 取組内容	官民連携による文化と観光のまちづくりを推進	
VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
◆ 取組内容	辻川山周辺全体を歴史・文化・観光拠点として整備	

事業名／歴史民俗資料館運営事業

◆事業内容(目的・必要性)

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集保存し一般に公開するため、各種事業を実施しました。

◆事業の成果

■展示活動

令和2年3月、東田原所在の妙徳山古墳が県文化財に指定されたことを記念し、妙徳山古墳のほか、古代の神前郡内に築造された古墳を紹介しました。

会期	名称	入館者数	備考
6月2日～7月19日	企画展「神崎郡の古墳」	1,193人	展示点数 160点
8月1日～11月29日	企画展「戦後75年 福崎と戦争の歴史をつむぐ」	5,650人	展示点数 187点
1月16日～3月14日	企画展「令和元年度埋蔵文化財発掘調査速報展」	1,875人	展示点数 76点

■資料収集

郷土資料を収集しました。令和2年度は、5名の方から民具・文書等199点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

- ・ふくさき歴史体験隊 隊員数4人

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために全1回の活動となりましたが、ガリ版印刷でポストカードを作成したり、黒電話や昔の計算機など、昔の道具に触れて学ぶ機会を提供することができました。

- ・連続講座「古墳からみた神前郡成立前夜」

本講座では、妙徳山古墳が県文化財に指定されたことを記念し、古代の神前郡地域に残る古墳について理解していただく機会を提供しました。

■入館者数 10,436人（令和元年度12,744人、平成30年度13,120人）

□効果・達成度

年間を通じて、企画展や連続講座、ふくさき歴史体験隊事業等を実施し、幅広い年代層に郷土の歴史や文化を学ぶ機会を提供することができました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,257,000	3,851,399				3,851,399

事業名／柳田國男・松岡家記念館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総	柳田國男・松岡家記念館リニューアル改修	

◆事業内容(目的・必要性)

日本民俗学の創始者である柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに一般に公開しました。

来館者が快適に利用できるよう老朽化した施設の環境改善に努め、柳田國男や松岡家に関する資料の保全、活用に継続して取り組みました。

◆事業の成果

■資料収集・資料整理

柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しました。令和2年度は1名の方から柳田國男書簡1点の寄贈をいただきました。

■松岡映丘画稿補修委託

委託料：477,620円（受託業者：(株)工房レストア）

作品9点 「御大典」「毛利元就」「光明皇后」「平盛久」「中大兄皇子」「観梅」「訪れ」「舟遊び」「狭衣ものがたり」

■入館者数12,495人（令和元年度13,000人、平成30年度14,059人）

□効果・達成度

開館40年以上を経過した記念館や生家については、日々の施設点検・記録を行い、不具合箇所等の早期発見、対処等、施設の安全性・利便性改善に努めました。資料補修では、松岡映丘画稿の裏打ち等を行い、資料保全を図りました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
柳田國男・松岡家記念館入館者数	15,809	14,974	14,059	13,000	12,495	16,000

□課題・改善

老朽化した施設の環境改善、展示を含めた施設リニューアルが必要です。また、資料保全においては、松岡映丘画稿の補修を継続して行い、管理や展示活用の充実に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,489,000	5,154,104			477,000	4,677,104

事業名／柳田國男・松岡家記念館運営事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	④先人の功績の顕彰
総 ◆ 取 組 内 容	名誉町民の顕彰を推進	友好都市である遠野市との交流促進

◆事業内容(目的・必要性)

柳田國男と松岡家の業績を顕彰するため、春季・秋季企画展を実施しました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室を開催しました。

◆事業の成果

■展示活動

会 期	名 称	入館者数	備 考
6月2日～7月26日	企画展「松岡映丘画稿展～映丘が描く女性の美～」	1,766人	展示点数 7点
10月3日～11月29日	企画展「松岡映丘画稿展～映丘が描いた歴史画～」	2,526人	展示点数 8点
10月24日～11月29日	「福崎町子どもふるさと展」	1,757人	展示点数 7点

■教育普及活動

- ・伊勢大神楽 11月14日（土）出演：加藤菊太夫 参加者：125人
- ・岩田健三郎版画教室 12月6日（日）講師：岩田健三郎 参加者：18人

■第8回福崎町柳田國男ふるさと賞

柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。

- ・小学校低中学年の部
川上莉央（田原小学校2年生） 作品名「つじ川の古い家をたんけん」
- ・小学校高学年の部
山本純也（田原小学校5年生） 作品名「西光寺野疎水」
- ・中学校の部
該当者なし

■日本民俗学会研究奨励賞の副賞

令和2年度受賞作品「祭礼における旦那衆の権威の創造-埼玉県熊谷市熊谷うちわ祭を事例に-」
市東真一

■館報「うぶすな」発行（7,000部）

効果・達成度

山桃忌、柳田國男検定は開催中止となりましたが、企画展、ふるさと賞等、年間を通じて顕彰事業に取り組み、「柳田國男生誕の地 福崎町」を町内外に発信し、松岡五兄弟への理解を深めることができました。

課題・改善

柳田國男・松岡家の功績を、幅広い世代が再認識できる分かりやすい催しや展示手法を引き続き研究します。「柳田國男生誕の地」の認知度を高めるため、さらに情報発信を工夫し誘客に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,253,000	1,015,437				1,015,437

事業名／三木家住宅等管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
◆ 取 組 内 容	三木家住宅（主屋）の文化交流活動拠点としての活用	三木家住宅（副屋他）の積極的な保存・活用

◆事業内容(目的・必要性)

平成22年度から進めてきた主屋に関連する保存修理工事の終了により、三木家住宅を活用していくため、平成29年度から主屋部分を展示施設として一般公開を行っています。三木家の歴史や魅力を来館者に伝えるため、公開イベントを実施しました。ひょうご地域創生交付金事業補助金を活用し、各種事業を実施しました。三木家住宅資料の保存活用のため、神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による資料調査を実施しました。

主屋以外の部分の指定管理者による活用が開始されたことにより、三木家住宅内蔵等に保管されていた貴重な資料を適切に保管・管理するとともに、展示も可能な展示兼収蔵施設を三木家住宅の東側に整備しました。また今後の主屋の活用のために非常用放送設備（消防設備）の設置を行ないました。

◆事業の成果

■主屋公開事業

■三木家住宅主屋公開イベント

実施日	内 容	講 師	参加者 (人)
7月11日(土)・ 12日(日)	手づくり講習会「三木家de風鈴づくり」	—	71
7月11日(土) ～8月23日(日)	企画展「手づくり風鈴展」	—	447
10月31日(土) ～12月6日(日)	特別展示「江戸紀行～三木通明、江戸に行く」(ひょうご地域創生交付金事業)	(展示点数 22 点)	1,171
11月1日(日)	三木家入門講座④ 「三木通明と江戸の旅」	神戸大学大学院 人文学研究科 室山 京子	29
11月3日(火・祝)	手づくり講習会「まつぼっくり工作」	—	80
2月6日(土) ～3月21日(日)	企画展「わが家の雛人形展」	—	886

■三木家資料保存体験型講座

三木家資料保存ワークショップ「下張り文書はがし作業」(3回)

11月1日(日) 参加者8人 11月22日(日) 参加者5人 12月12日(土) 参加者3人

■画稿等補修委託

委託料:166,980円(受託業者:㈱工房レストア)

資料2点 「後素雑費籍」「諸事控四番」

■展示兼収蔵施設整備事業

実施設計等委託料:1,738,000円(受託業者:橋本設計工房)

施設整備工事費:25,072,300円(請負業者:牛尾建設㈱)

■非常用放送設備（消防設備）設置工事

工事費：1,453,100円（請負業者：(株)消防装備）

■開館日数・入館者数

開館日数 119日 入館者数 4,294人

□効果・達成度

四季に応じた展示、講習会等を実施し、多くの見学者を得て、文化財保護意識を醸成することができました。また、資料調査の成果を活用した特別展示を実施することで辻川界隈への来訪の機会を高め、住民とともに資料整理を行うことで文化財への興味関心を高めました。

□めざそう値

第2期総合戦略アクションプランKPI	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R6)
宿泊者数（三木家住宅、歴史・文化館）	—	—	—	—	546	2,000

□課題・改善

指定管理者等と連携して、まちの歴史を伝える文化財として三木家住宅の保存を図りつつ、来訪者の興味・関心を高める展示やイベントの充実に努めます。展示兼収蔵施設に収蔵できなかった資料を適切に保管・継承していくための収蔵場所が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
32,992,000	32,461,717	13,936,000	12,200,000		6,325,717

事業名／辻川界隈文化振興事業

◆事業内容(目的・必要性)

辻川界隈の活性化のため、文化財の保護及び観光振興に継続して取り組むとともに、地域の環境美化に努めました。

◆事業の成果

■松岡五兄弟石像及び短歌祭掲示板のモニュメント保険、望郷の丘の建物共済保険に継続加入しました。

□効果・達成度

辻川界隈の観光振興に寄与しました。

□課題・改善

辻川界隈の活性化に向けた検討を進める必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,663,000	1,384,475				1,384,475

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
4. 社会教育費	10. 文化財保護費	60,381,000 ^円	59,523,046 ^円	857,954 ^円

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

事業名／文化財保護一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進
総◆取組内容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	③「民俗学のふるさと」づくりの推進
総◆取組内容	三木家住宅、旧辻川郵便局の新たな活用	
Ⅵ まちの基盤	4 公園・緑地	②緑化の推進
総◆取組内容	神社仏閣、境内地樹木等緑地の景観保全	

◆事業内容(目的・必要性)

文化財を保護し、活用を図るため、指定文化財の保存継承事業や古墳周辺環境整備等への補助金交付、説明板の整備を行いました。文化財審議委員会を開催し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。子どもたちの郷土意識醸成のため、地域の特色ある埋蔵文化財活用事業（国庫補助金）を用いて、パンフレット等を作成し、町内の小・中学校に配布しました。

福崎町の地域歴史遺産の掘り起こしを進めるため、神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業に取り組みました。

◆事業の成果

- 指定古墳周辺整備補助金：3古墳×10,000円=30,000円
大塚古墳（町指定・山崎）・妙徳山古墳（県指定・神積寺）・神谷古墳（町指定・醫王寺）
- 町指定民俗文化財保存継承事業補助金：1保存会×30,000円=30,000円
法成就講（高橋）
- 町指定文化財看板設置等（朝谷1号墳、ビワクビ古墳群）
- 古墳マップ作成事業 2,500部
- 文化財審議委員会
第1回：第1回：令和2年7月2日（木） 第2回：令和3年3月9日（火）

□効果・達成度

町指定文化財保存継承事業等に補助金を交付することで、文化財保護活動の促進を図りました。
神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、令和3年度の松岡映丘生誕140年に向けた映丘に関する資料収集・分析を進めました。三木家住宅ふすま下張り文書の保存処理や整理作業を住民の方と共に進めるためのワークショップを開催し指導いただくとともに、地域所在資料の調査・整理を継続して行い、その成果を地元住民へ報告する展示を現地公民館で実施しました。また、松岡家に関する資料調査を継続して行い、調査成果は広報誌等で広く町民に発信しました。

町内の古墳について周知するため、古墳マップを刊行し、ホームページに掲載しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
文化財の指定件数	44	46	46	46	47	47

□課題・改善

地域所在資料を広く地域住民に知ってもらい保存・継承につなげるため、引き続き住民と協働した資料整理・展示会の企画など継続した取り組みが必要です。

住民に文化財の重要性を認識していただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させます。文化財や郷土資料を保存継承していくため、適切な保存環境を備えた収蔵施設の整備が必要です。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,708,000	3,637,424	1,000,000		1,150	2,636,274

事業名／埋蔵文化財発掘調査事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成			
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み	
Ⅱ 教育・文化	7 芸術・文化、文化財	②文化財の保護・活用の推進	
総 ◆ 取 組 内 容	文化財調査の実施、調査成果の公開	収蔵施設の整備（文化財、郷土資料等の保存・展示）	

◆事業内容(目的・必要性)

埋蔵文化財を適切に保護していくため、開発事業との円滑な調整を図り、調査を行いました。

◆事業の成果

埋蔵文化財包蔵地内の民間開発等に伴う試掘調査を21か所、確認調査を4か所、本調査を3か所で行いました。三木家住宅展示兼収蔵施設新築工事に伴う試掘調査の結果、近世の遺構が見つかったことから三木家住宅関連遺跡を新たに遺跡として登録し、本調査を実施しました。

また、高岡・福田地区ほ場整備に伴う埋蔵文化財調査では、桜東畑遺跡から奈良時代の大型掘立柱建物や合口甕棺が見つかるなどの成果が得られました。

また、埋蔵文化財調査報告書を刊行し、調査成果の公開を行うことができました。

■民間開発等に伴う試掘調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
倉庫新築工事に伴う大貫字谷之内西試掘調査	—	—	休耕地	令和2年4月2日 (半日)	2か所 8㎡
グラウンド・露天駐車場設置工事に伴う西田原字下野田試掘調査	—	—	休耕地	令和2年4月6日 (半日)	2か所 8㎡
倉庫新築工事に伴う福崎新字町田試掘調査	—	—	宅地	令和2年4月15日 (半日)	4か所 16㎡
宅地造成工事に伴う大貫字南垣内試掘調査	—	—	宅地	令和2年4月27日 (半日)	1か所 4㎡
宅地造成工事に伴う南田原字北西試掘調査	—	—	休耕地	令和2年5月19日 (半日)	3か所 12㎡
宅地造成工事に伴う西田原字上野田試掘調査	—	—	水田	令和2年5月25日 (半日)	6か所 24㎡
個人住宅新築工事に伴う東田原字山ノ上試掘調査	—	—	宅地	令和2年5月25日 (半日)	1か所 4㎡
農業用倉庫新築工事に伴う八千種字小鶴池試掘調査	—	—	畑地	令和2年5月27日 (半日)	2か所 18㎡
個人住宅新築工事に伴う山崎字才ノ神試掘調査	—	—	宅地	令和2年5月27日 (半日)	2か所 8㎡
宅地造成工事に伴う福崎新字東出口試掘調査	—	—	宅地	令和2年6月8日 (半日)	2か所 8㎡
農業用倉庫新築工事に伴う八千種字裏垣内試掘調査	—	—	畑地	令和2年9月3日 (半日)	1か所 4㎡
個人住宅新築工事に伴う福田字寺ノ下試掘調査	—	—	宅地	令和2年9月14日 (半日)	1か所 4㎡
農業用倉庫新築工事に伴う福田字中垣内試掘調査	—	—	畑地	令和2年9月23日 (半日)	1か所 4㎡
資材置場新築工事に伴う東田原字北屋敷試掘調査	—	—	宅地	令和2年9月28日 (半日)	1か所 4㎡
三木家住宅収蔵庫兼展示施設新築工事に伴う西田原字道北試掘調査	—	—	宅地	令和2年10月5日 (1日)	2か所 17.2㎡
露天駐車場・露天資材置場新築工事に伴う西田原字前田試掘調査	—	—	宅地	令和2年11月10日 (半日)	5か所 20㎡
露天駐車場・露天資材置場新築工事に伴う南田原字北ノ垣内試掘調査	—	—	宅地	令和2年11月11日 (半日)	2か所 8㎡
嶺雲寺露天駐車場工事に伴う八千種字廣野試掘調査	—	—	畑地	令和2年12月2日 (半日)	1か所 4㎡
金剛城寺露天駐車場工事に伴う田口字小屋垣内試掘調査	—	—	耕作地	令和2年12月3日 (半日)	2か所 8㎡
太陽光発電施設工事に伴う南田原字金垣内試掘調査	—	—	耕作地	令和3年3月4日 (半日)	5か所 20㎡
住宅建築工事に伴う大貫字室ノ尾試掘調査	—	—	畑地	令和3年3月16日 (半日)	1か所 4㎡

■民間開発等に伴う確認調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
宅地造成工事に伴う福田東田黒遺跡確認調査（第2次）	中世	集落	休耕田	令和2年4月21日 （半日）	4か所 16㎡
個人住宅新築工事に伴う南田原条里遺跡確認調査（第46次）	奈良 その他	集落 その他	宅地	令和2年10月21日 （半日）	1か所 4㎡
宅地造成工事に伴う北野散布地確認調査（第10次）	弥生～ 平安	集落 散布地	水田	令和2年11月4日 （1日）	8か所 32㎡
宅地造成工事に伴う北野散布地確認調査（第11次）	弥生～ 平安	集落 散布地	水田	令和3年1月28日 （半日）	1か所 2㎡

■民間開発等に伴う本調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
宅地造成工事に伴う西田原上野田遺跡本調査（第5次）	弥生 奈良 中世	集落	水田	令和2年6月15日 ～17日（3日）	212㎡
三木家住宅収蔵庫兼展示施設新築工事に伴う三木家住宅関連遺跡本調査（第1次）	近世	集落	宅地	令和2年10月26日 ～29日（4日）	90㎡
宅地造成工事に伴う北野散布地本調査（第13次）	弥生	集落	水田	令和3年3月8日 ～15日（6日）	460㎡

■ほ場整備事業に伴う本調査

調査名	時代	種類	現状	調査期間	調査面積
桜東畑遺跡（第1次）	奈良	集落	水田	令和2年7月1日～ 8月31日（36日）	1,336㎡
桜竹之後遺跡（第1次）	飛鳥	集落	水田	令和2年9月1日～ 10月27日（32日）	610㎡
観音堂遺跡（第3次）	鎌倉	散布地	水田	令和2年11月1日～ 12月11日（32日）	360㎡
高岡・福田地区ほ場整備事業に伴う試掘調査	—	—	水田	令和2年9月15日 10月12、14日（3日）	9か所 40㎡
山崎地区ほ場整備事業に伴う試掘調査	—	—	水田	令和2年11月16日～ 令和3年1月9日（27日）	140か所 560㎡
桜遺跡（第1次）	奈良	集落	水田	令和3年2月4日～ 3月11日（21日）	520㎡
長野多イ谷遺跡（第1次）	近世	生産	水田	令和2年12月1日～ 令和3年3月25日（32日）	694㎡

□効果・達成度

適切に調査を実施し、埋蔵文化財の保護に努めました。埋蔵文化財包蔵地の可能性がある箇所について、工事立会や分布調査・試掘調査を行うことで新たな埋蔵文化財が発見され、記録保存を行うことができました。また、桜東畑遺跡での現地説明会や歴史民俗資料館の企画展、広報紙等で調査成果を発信することができました。

□課題・改善

引き続き、ほ場整備事業や民間開発事業等との円滑な調整を図り、調査を実施していく必要があります。また、地域住民に埋蔵文化財の価値や調査への理解を深めてもらうために、発掘調査の結果を講座や展示会、現地説明会等で積極的に公開していく必要があります。

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き整理作業を進め、調査報告書の刊行に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
51,050,000	50,438,372	46,000,000			4,438,372

事業名／地域文化財総合活用推進事業

◆事業内容(目的・必要性)

文化財の保存と活用について、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域総がかりで継承に取り組んでいくための計画として、文化財保存活用地域計画を作成します。令和2年度は3か年計画の1年目として、アンケート調査や文化財の現況調査により文化財を把握するとともに、文化財保存活用地域計画協議会を開催し、様々な立場から文化財について協議しました。

◆事業の成果

■文化財保存活用地域計画協議会

第1回：令和2年7月31日（金） 第2回：令和3年1月8日（金） 第3回：令和3年3月19日（金）

■文化財保存活用地域計画作成支援業務委託料 4,522,100円（受託者：㈱スペースビジョン研究所）

■アンケート調査

町民が共感・共有し、協働して取り組める計画を作成するための検討資料として実施しました。

対象 ①自治会 町内33地区 / 回答：33地区

②学生 町内の中学2年生 / 回答：163人

③企業 工業団地協議会・福崎町商工会 / 回答：30者

□効果・達成度

計画作成のための事前把握、調査により未指定を含めた2,292件の文化財を把握し、文化財データベースを作成したことで、これまでに保護措置が図られていなかった文化財の保存・活用に向けた取り組みを今後検討していくことが可能となりました。また、地域の方々にアンケートや文化財の確認作業等の協力を得たことで、地域の文化財を再認識する機会として関心や理解を深める効果がありました。

□課題・改善

令和3年度末に計画の作成を完了させるため、計画的に作成作業を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,623,000	5,447,250	3,713,000			1,734,250

1次評価：A

(5) 保健体育費

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	1.保健体育総務費	23,838,000 ^円	23,055,642 ^円	782,358 ^円

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力している組織の活動費・助成金等です。その活動により、世代・性別問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を發揮できる環境づくりを進めました。

事業名／保健体育総務一般事務費

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	②指導体制の確立
総◆ 取組内容	指導者の育成 指導体制の確立支援	指導者や審判等の資質向上支援
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総◆ 取組内容	広報活動の充実	子どもの体力向上を目的とした事業の実施
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総◆ 取組内容	住民の自主的な健康づくり活動の支援	

◆事業内容(目的・必要性)

生涯スポーツ全般にわたる事業推進のため、スポーツ推進委員・普及員が中心となり、地域住民対象のスポーツ大会や講習会等を企画し、生涯スポーツの普及発展を図りました。近年の高齢化に対応し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を行いました。

また、生涯スポーツの振興を図るため、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。

◆事業の成果

■スポーツ推進委員会

年4回開催し、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関する審議を行いました。また、スポーツ推進委員の資質・指導力向上及び情報交換等のため各種研修会に出席しました。

□スポーツ推進委員会

第1回 令和2年4月8日(水) 第2回 令和2年9月16日(水)
第3回 令和2年11月18日(水) 第4回 令和3年3月3日(水)

- ・ひょうご女性スポーツの会総合開会式 令和2年8月22日(土) 神戸市
- ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会 令和2年10月25日(日) 神戸市
- ・兵庫県スポーツ推進委員女性委員研修会 令和2年11月15日(日) 姫路市
- ・ひょうご女性スポーツの会研修会 令和2年11月23日(月・祝) 神戸市

■健康推進事業

健康セミナーを年3回開催し、スポーツ推進委員の知識・技術を活用し、暮らしの中での運動習慣の推進を行いました。

□健康セミナー

第1回 令和2年8月29日(土) 認知症予防コグニサイズ講習会
第2回 令和2年11月21日(土) 背骨コンディショニング講習会
第3回 令和3年3月14日(日) ニュースポーツ体験(カローリング大会)

■スポーツ功績賞

スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人12人を表彰しました。

【受賞者一覧】

氏名	所属	内容	成績
楠田常乃	大阪学院大学 3年生	第23回兵庫県アマチュアゴルフ選手権 競技	優勝
澤田 緯	福崎東中学校 3年生	JOC ジュニアオリンピックカップ 全国中学生陸上競技大会 2020	出場
松岡暖貴	福崎西中学校 2年生	第16回タイガースカップ～2020 中学生 硬式野球・関西 No.1 決定戦～	優勝
松岡智耶	神崎高等学校 2年生	2020JCSPA ジュニアサイクルスポーツ大会 全国大会 令和2年度全国高等学校総合体育大会自 転車競技大会中止に伴う全国大会	出場
佐治太伊史	報徳学園高等学校 3年生	令和2年度全国高等学校総合体育大会 第100回全国高等学校ラグビーフットボ ール大会	出場
三輪歩夢	福崎東中学校 3年生	第28回ヤングリーグ春季大会	出場権獲得
長澤 元	福崎東中学校 3年生	第28回ヤングリーグ春季大会	出場権獲得
埴岡蔵之介	福崎東中学校 3年生	第28回ヤングリーグ春季大会	出場権獲得
福永悠人	福崎東中学校 3年生	第28回ヤングリーグ春季大会	出場権獲得
牛尾颯希	福崎東中学校 3年生	第28回ヤングリーグ春季大会	出場権獲得
姫田悠聖	福崎東中学校 3年生	第28回ヤングリーグ春季大会	出場権獲得
小西風羽	神港学園高等学校 2年生	令和元年度(2020年)JOC ジュニアオリ ンピックカップ 第39回全国高等学校空手道選抜大会	出場権獲得

□効果・達成

スポーツ推進委員の資質向上・生涯スポーツ活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげました。健康セミナーを年3回開催し、日常生活の中に運動を取り入れるための普及活動を推進しました。

スポーツ功績賞の表彰により、多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになりました。

□課題・改善

スポーツ健康分野において、スポーツ推進委員の能力を生かし活発な活動を続けていきます。また、体育普及員と協力し地域における健康増進活動を活発に進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,308,000	1,251,687				1,251,687

事業名／町体育協会等育成事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総	◆ 取 組 内 容	各団体が活発に活動できる体制づくりの支援 各団体への施設開放による支援

◆事業内容(目的・必要性)

福崎町体育協会・福崎町スポーツ少年団の育成強化のため、財政的な補助を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体とも活動の自粛を余儀なくされましたが、そのような中でも感染予防対策を実施し、できる範囲での活動を行いました。

◆事業の成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■令和2年度 福崎町体育協会加盟団体一覧

R 3. 3.31現在

団体名	会長名	会員数(人)	団体名	会長名	会員数(人)
庭球協会	佐伯武彦	21	卓球協会	高松繁樹	17
ゲートボール協会	上野昭郎	6	バレーボール協会	松山濫久	18
陸上競技協会	岩崎文治	27	水泳協会	三輪和幸	22
少林寺拳法協会	生田久人	22	山の会協会	楠田道廣	35
柔道協会	難波弘一	40	ソフトボール協会	三輪一朝	263
合気道協会	羽室研二	20	グラウンドゴルフ協会	尾崎久一	194
ソフトバレーボール協会	米田 泉	50	ゴルフ協会	北山孝彦	7
剣道協会	大西崇博	13	合計		755

■令和2年度 福崎町体育協会決算書

収入			支出		
項目	金額(円)	備考	項目	金額(円)	備考
会費	30,000	加盟協会から @2,000×15	事業費	1,540,000	加盟協会助成金 他
補助金	1,644,000	町補助金	事務費	8,950	事務用品他
繰越金	211,056	前年度繰越	基金費	50,000	50周年記念事業 積立金
事業収入	0		戻入	100,000	町補助金戻入
雑入	2	利息	予備費	0	
合計	1,885,058		合計	1,698,950	

収入支出差引額 186,108円(令和3年度へ繰越)

■令和2年度 福崎町スポーツ少年団決算書

収入			支出		
項目	金額(円)	備考	項目	金額(円)	備考
会費	89,700	加盟団から @1,000×89名 他	登録費	73,500	県登録料他
補助金	105,000	町補助金	事業費	105,000	大会補助金他
繰越金	64,420	前年度繰越金	事務費	16,829	郵便料他
雑入	0		会議費	0	
合計	259,120		慶弔費	0	
			予備費	0	
			合計	195,329	

収入支出差引額 63,791円（令和3年度へ繰越）

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む15協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しました。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,649,000	1,649,000				1,649,000

事業名／子ども会運営事業

総合計画**基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	4 青少年健全育成	①地域資源などを生かした人材教育
総	◆ 取 組 内 容	青少年団体への支援(青少年の自主的な活動を促進)

◆事業内容(目的・必要性)

子どもたちの福祉増進、子ども会の自主的な活動の充実と町内子ども会相互の連携を目的としています。

◆事業の成果

□効果・達成度

子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図るため、球技大会、郡オセロ大会、少年少女将棋大会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての事業を中止しました。

□課題・改善

コロナウイルス感染症の収束後には、子ども会活動が円滑に実施できるよう、啓発等の準備を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,162,000	917,243				917,243

1次評価：A

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	2.給食運営費	266,686,000 円	266,315,040 円	370,960 円

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康増進・体力の向上を図ることはもちろんのこと、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的な役割も担っています。

給食センターでは、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培う健康教育の一環として、地場産物の活用を推進し、学校給食を生きた教材として活用した食育に取り組みました。

事業名／給食センター管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

平成30年4月から調理・配送業務の民間委託を実施し、学校給食運営の合理化を図っています。また、各作業場に設置した6台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理や夏場の給食配送時に保冷剤を使用し食中毒等の対策を行いました。

給食の試食会については、新型コロナウイルス感染症予防等から申込みが減り、2回(延人数10人)でした。空調設備は17年が経過し、耐用年数や部品供給の観点から設備改修工事を実施しました。調理・配送業務については、令和3年度から令和5年度の業者決定のため、給食共同調理センター業務委託総合評価審査会を開催しました。

給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、徴収率の向上を図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、給食費の滞納額の減少に努めました。

◆事業の成果

■収入状況

(単位：円)

年度	区分	調定額	収納額	不納欠損額	滞納額	徴収率(%)
令和2年度	現年度	44,464,688	44,268,408	0	196,280	99.6
	過年度	1,098,345	624,238	0	474,107	56.8
	計	45,563,033	44,892,646	0	670,387	98.5
令和元年度	現年度	95,088,154	94,665,354	0	422,800	99.6
	過年度	1,125,289	449,744	0	675,545	40.0
	計	96,213,443	95,115,098	0	1,098,345	98.9

私立認定こども園から給食事業諸経費納付金(給食にかかる電気代・水道代・消耗品費)として、614,000円を収入しました。

■支出状況

平成15年6月から供用開始した、給食センターの厨房機器・設備機械等は耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業の修繕料を4,541,966円支出し、空調設備も耐用年数や部品供給の観点から設備改修工事を行い、42,504,000円を支出しました。

■学校給食費 調定額及び収入状況 (R3.5.31現在)

(単位:円)

学校または施設名	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済額	
	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度	現年度	過年度
福崎小	8,933,040	575,188	8,874,240	447,092	0	0	58,800	128,096
高岡小	1,545,624	0	1,545,624	0	0	0	0	0
田原小	9,376,435	211,341	9,348,571	51,024	0	0	27,864	160,317
八千種小	3,103,330	0	3,103,330	0	0	0	0	0
計	22,958,429	786,529	22,871,765	498,116	0	0	86,664	288,413
西中	5,141,478	270,808	5,066,474	125,652	0	0	75,004	145,156
東中	7,170,573	40,538	7,160,973	0	0	0	9,600	40,538
計	12,312,051	311,346	12,227,447	125,652	0	0	84,604	185,694
福崎幼	1,787,432	0	1,787,432	0	0	0	0	0
高岡幼	362,337	0	362,337	0	0	0	0	0
田原幼	2,554,983	470	2,529,971	470	0	0	25,012	0
八千種幼	871,007	0	871,007	0	0	0	0	0
計	5,575,759	470	5,550,747	470	0	0	25,012	0
給食センター職員	729,504	0	729,504	0	0	0	0	0
私立こども園	2,888,945	0	2,888,945	0	0	0	0	0
計	3,618,449	0	3,618,449	0	0	0	0	0
合計	44,464,688	1,098,345	44,268,408	624,238	0	0	196,280	474,107

□効果・達成度

現年度給食費の徴収率は、令和元年度と同じ99.6%となりましたが、過年度給食費の徴収率は令和元年度より16.8%増の56.8%となりました。また、現年度・過年度合わせて徴収率は98.5%でした。

□課題・改善

今後、給食費の現年度分をできるだけ滞納繰越にしないように早めの対策を講じるとともに、過年度滞納分についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率の向上につなげていきます。厨房機器等の更新も計画的に実施していきます。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
71,595,000	71,434,417		38,200,000		33,234,417

事業名／給食センター給食事業

◆事業内容(目的・必要性)

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れ、「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもち

むぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れました。そうした福崎町の給食をPRするために、毎月発行する給食だより等の中で詳しく紹介し、児童・生徒及びその家庭に伝えました。

一日平均給食供給人員は約2,430人で給食延べ人員は、456,169人でした。4月、5月は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により小・中学校は一斉臨時休校、認定こども園は希望保育となり給食を提供できませんでした。6月から11月までは児童・生徒の給食費を無償化し、各園・学校が希望した日数分の給食を提供しました。無償化した金額は57,768,000円です。12月から3月までは小学校66日、中学校65日、認定こども園（1号認定）61日、（2号認定土曜日保育無）77日、（2号認定土曜日保育有）90日、（3号認定）90日の給食を提供しました。

平成30年度から調理・配送業務を民間委託し、学校給食運営の合理化を図っています。

【コーベフーズ株式会社：58,431,576円】

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で104,993,830円です。

給食原材料費内訳 (単位：円)

区 分	金 額
副 食 費	64,599,684
米 飯 代	17,587,970
パ ン 代	4,952,787
牛 乳 代	17,853,389
計	104,993,830

■地産地消の取り組み

- ・「福崎町第2次食育推進計画・健康増進計画」の中の「地産地消の推進・食文化の継承」に基づき、給食センターでは、学校給食における地元野菜（米含む）目標地産地消率（重量ベース）を42%と定め、農林振興課と連携し生産者の協力を得ながら開発した地元産じゃがいもと玉ねぎを使用した「じゃがいもコロッケ」や地元産さつまいもを使用した「さつまいもコロッケ」を令和2年度も給食に提供し、地産地消率アップを図りました。給食における地産地消率は53.4%と令和元年度よりも3.7%増となりましたが、全体の地元野菜の使用量は、主にかぼちゃの納品が少なく使用量が減り、小松菜等の使用が増えたことにより104kg減となりました。また、7月には「夏野菜カレー」、10月には「さつまいものクリーム煮」、12月には「冬野菜のカレースープ」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をPRしました。福崎町産大豆で作られた「手作りみそ」を使用したみそ汁を年2回提供し、提供時に「手作りみそ」について各学校で校内放送により説明していただきました。
- ・福崎町特産「もち麦」の利用促進については、週1回のパン給食の日には、もちむぎ粉を10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週4回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を8%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」や「もちむぎそうめん汁」を取り入れ、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を夏期に2回実施して、もち麦の使用に努めました。

□効果・達成度

給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらい、給食だより等でもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえるようPRできました。また、毎月、町のホームページに給食献立表及び給食物資の産地情報を掲載して、食の安全

性を啓発しました。

□課題・改善

今後も地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に福崎町産の野菜の取り入れをさらに増やす努力をしていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
183,388,000	183,353,968	47,619,000		46,295,646	89,439,322

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	3.町民グラウンド管理費	11,116,000 ^円	10,237,418 ^円	878,582 ^円

町民グラウンドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されました。

事業名／町民第1，第2グラウンド管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

町民第1，第2グラウンドを安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。

- ・第1グラウンド照明灯漏電調査・修理 124,300円 (請負業者：高岡電工(株))
- ・第1グラウンドバックネット修理 55,000円 (請負業者：高岡電工(株)) 等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・清掃委託料 197,120円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・電気設備管理委託料 118,800円 (請負業者：小國電気設備管理事務所)
- ・草刈等委託料 103,950円 (請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター)
- ・樹木剪定撤去業務委託 184,800円 (請負業者：中塚造園土木)

□効果・達成度

第1グラウンドでは、照明灯漏電調査・修理、バックネットの修理などを行い、より快適にスポーツ活動を行える環境を整備しました。第2グラウンドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。なお、新型コロナウイルス感染症予防対策として、施設の休館、休場、使用時間等の制限があり、令和2年度社会体育施設(町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)利用者数は、84,010人と前年に比べ大幅に減少しました。

□めざそう値

第5次総合計画めざそう値	H28	H29	H30	R1	R2	目標(R5)
社会体育施設利用者数 (町民グラウンド、スポーツ公園、体育館)	111,821	122,156	126,931	120,133	84,010	135,000

(第2期総合戦略アクションプランKPI：令和6年度目標140,000人)

□課題・改善

第1グラウンドは、改修工事を実施して以降、小石が露出することが少なくなり、グラウンド内は利用者が安全で快適に利用できています。しかし、敷地周辺を含め、樹木の伐採や除草、溝掃除など管理面での課題は多々あります。第2グラウンドも含め、今後は施設の計画的な修繕及び効率的なグラウンド整備を進めていきます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,475,000	2,915,772			501,270	2,414,502

事業名／スポーツ公園管理事業

◆事業内容(目的・必要性)

スポーツ公園を安全・快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。

- ・スポーツ公園時計修繕工事 286,000円 (請負業者:福崎電業㈱) 等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 284,592円 (請負業者:セコム㈱加西営業所)
- ・芝生管理委託料 616,000円 (請負業者:宮下造園土木)
- ・樹木伐採撤去委託料 165,000円 (請負業者:高岡電工㈱)
- ・電気設備管理委託料 132,000円 (請負業者:小國電気設備管理事業所)
- ・清掃委託料 (第2体育館) 57,200円 (請負業者:㈱新栄ビルサービス)
- ・消防設備点検委託料 (第2体育館) 8,580円 (請負業者:神姫防災)

□効果・達成度

多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成に貢献することができました。

□課題・改善

ソフトボール場は表土が風雨による流出や飛散により、傷みが目立つため、土の入れ替え、整備の必要があります。施設全体の照明設備についても水銀灯を採用しているため、安定器の寿命も含め、LED化への検討もしていく必要があります。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,708,000	4,507,543			937,340	3,570,203

事業名／町民第3グラウンド管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<<章>>	施 策	町の取り組み
VI まちの基盤	4 公園・緑地	①公園・緑地の整備・拡充等
総	◆ 取 組 内 容	浄化センター周辺の修景施設を含めた公園利用

◆事業内容(目的・必要性)

町民第3グラウンド(さるびあドーム、スケートボード場、遊具広場)を安全・快適に利用していただ

くため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。

◆事業の成果

■施設修繕を行い、より便利に利用できるようになりました。

- ・遊具広場複合遊具踊場パネル破損箇所交換修理 68,200円（請負業者：吉田体機工業(株)）

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・警備委託料 142,296円（請負業者：セコム(株)加西営業所）
- ・電気設備管理委託料 68,640円（請負業者：小國電気設備管理事務所）
- ・清掃委託料 286,000円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）
- ・消防設備点検委託料 19,800円（請負業者：(株)消防装備）

□効果・達成度

さるびあドーム・スケートボード場・遊具広場は、幅広い世代が活動できる複合施設として、多くの利用者にレクリエーション活動の場を提供でき、住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの形成に貢献できました。

□課題・改善

ドーム内グラウンドについては、定期的な散水に加え、スポーツトラクターでの整備に努めています。今後も引き続き効率的な整備方法を研究します。スケートボード場については、利用者が増えていますが、未登録やヘルメットの未着用が目立ちます。今後においては、啓発・監視体制を強化し、安全で快適に利用できるように努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,383,000	2,268,526			1,006,410	1,262,116

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	4.学校施設社会開放費	1,050,000 ^円	1,042,301 ^円	7,699 ^円

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業名／学校施設社会開放事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施 策	町の取り組み
I 地域づくり・行政	2 地域づくり	①地域コミュニティ活動への支援
総◆取組内容	施設の開放、利用促進	
II 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	④既存団体の育成・組織強化
総◆取組内容	各団体への施設開放による支援	

◆事業内容(目的・必要性)

地域住民のスポーツ振興を図るため、町内の小・中学校の運動施設（体育館・グラウンド）の積極的な開放を実施しました。

◆事業の成果

■学校施設社会開放 学校別集計表

		福崎小	高岡小	田原小	八千種小	西 中	東 中	計
体 育 館	使用回数(回)	318	273	383	285	186	242	1,687
	使用人数(人)	5,235	4,145	11,981	8,511	3,833	4,524	38,229
	使用料(円)	55,200	78,020	103,860	262,640	60,680	60,690	621,090
グ ラ ウ ン ド	使用回数(回)	92	40	13	173	0	0	318
	使用人数(人)	2,255	790	730	4,304	0	0	8,079
	使用料(円)	5,500	0	25,300	147,400	0	0	178,200

■施設を安全に使用するために、不良個所の調査・修繕を行いました。

- ・夜間照明点検・調査委託料

八千種小学校グラウンド夜間照明絶縁不良調査 83,600円 (請負業者：福崎電業㈱)

- ・施設修繕料 八千種小学校グラウンド夜間照明外線改修工事 257,400円 (請負業者：福崎電業㈱)

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習活動の場と機会を提供しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の使用中止や利用制限を行ったことにより、令和元年度に比べ利用人数は減少していますが、スポーツクラブ4団体や各種団体のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めます。設備の不良が指摘されている八千種小学校の夜間照明は、利用者の安全性を確保するため早急に改修を進めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,050,000	1,042,301			799,290	243,011

1次評価：B

項	目	予算現額	支出済額	不用額
5.保健体育費	5.体育館運営費	7,895,000 ^円	7,619,313 ^円	275,687 ^円

生涯スポーツの拠点として各年代層にあったスポーツを選択できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、様々な教室・講習会を開催しました。また、小学生向けの行事を通して青少年の健全育成に努めました。

施設において、より安全で効率的なスポーツ活動の場を提供するために、設備の充実・整備を行いました。

事業名／町民体育館管理事業

総合計画**後期基本計画-施策の構成		
まちづくりの柱<章>	施策	町の取り組み
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	①スポーツ施設等の効率的な管理・運営
総◆ 取組内容	スポーツ施設の充実	
Ⅱ 教育・文化	8 スポーツ・レクリエーション	③体力づくりの振興
総創◆ 取組内容	各種教室及びスポーツ大会の充実	
Ⅳ 健康・医療・福祉	1 健康・医療	①健康づくりの推進
総◆ 取組内容	職員のスキルアップ（多様なニーズに対応）	

◆事業内容(目的・必要性)

第1体育館を安全かつ快適に利用していただくため、施設修繕・点検・清掃等を実施しました。卓球台についてはキズや接合部の破損が目立っていたため、入れ替えを行いました。近年、世代・性別問わず誰もが参加できるニュースポーツの需要が高まっており、カラーリングや囲碁ボールを購入、講習会などで活用しました。また、地域住民の体力向上・健康増進・地域コミュニティ・スポーツ振興を図るため、今後のスポーツ大会・教室等のプログラム向上について検討しました。

◆事業の成果

■施設修繕を行い、より快適に施設利用ができる環境を整えました。

- ・トイレ呼出表示器修理 53,900円（請負業者：高岡電工(株)）
- ・ガラス修理 96,140円（請負業者：(株)モリ）等

■施設を安全に使用するために、点検・清掃等の委託を行いました。

- ・年末清掃委託料 298,100円（請負業者：(株)新栄ビルサービス）
- ・自動ドア保守点検委託料 46,200円（請負業者：寺岡オート・ドアシステム(株)）
- ・消防点検業務委託料 24,200円（請負業者：(株)消防装備）

*町民体育館利用人数 (単位：人)

年度	球技室	体育室	卓球室	トレーニング室	第2体育館	計
平成30年度	15,380	5,443	6,247	10,068	7,300	44,438
令和元年度	13,756	5,138	5,111	9,991	7,149	41,145
令和2年度	12,853	3,836	2,860	5,597	6,424	31,570

■各種大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、すべて中止しました。小学生対象の生活塾シリーズについては、代替行事を実施しました。

大会名	期日	場所	対象	参加者
マスターズソフトボール大会	4/12	第1グラウンド	35歳以上の男女。チーム年齢合計が360歳以上で構成	中止
町民親善ソフトボール大会	5/9	第3グラウンド	誰でも可	
山菜ハイキング	5/23	鉢伏高原	誰でも可	
カヌー教室	6/28・8/1	野外活動センター	町内小学4～一般	
ふれあいワンデー生活塾	7/18	野外活動センター	町内小学1～3年生	
アウトドア生活塾	7/23～24	野外活動センター	町内小学4～6年生	
自治会親善ソフトボール大会	8/16～21	第1グラウンド他	自治会でチームを編成	
地域職域親善ソフトボール大会	11/15	第1グラウンド	町内在住在勤者	
子ども遊びフェスティバル!	1/23	第1体育館	町内幼児園児以上及び保護者	
ハーブデー生活塾	11/23	第1体育館周辺	町内小学1～6年生	20人

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

講習会名	期日	場所	内容・対象	参加者
健康セミナー	8/29	文化センター	認知症予防コグニサイズ	23人
	11/21	体育館体育室	背骨コンディショニング	30人
	3/14	体育館球技室	ニュースポーツ体験	20人
スケボーチャレンジ	11/21・28 3/6・20	スケートボード場	小学生以上町内在住・在勤者	14人 15人

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

教室名	対象	曜日	時間	1期	2期	3期
貯筋教室	65歳以上	水曜日	9:30～11:00	22人	21人	18人
夜のフィットネス教室	誰でも可	木曜日	18:00～19:30	18人	16人	16人
からだのびのび教室	誰でも可	火・金曜日	9:30～10:15	73人		
健康ソフトバレークラブⅠ	誰でも可	火曜日	10:15～11:45	26人		
健康ソフトバレークラブⅡ	誰でも可	金曜日	10:15～11:45	28人		
ここにこそスポーツ教室	誰でも可	木曜日	13:30～15:00	11人		
いきいき教室	誰でも可	火曜日	13:30～15:00	15人		
ポールウォーキング教室	誰でも可	木曜日	9:30～11:00	33人		

□効果・達成度

各種大会については、中止を余儀なくされましたが、その他講習会や健康・スポーツ教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができ、また誰もが気軽に参加でき、多くの方の健康維持増進に努めました。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。

参加数が減少している事業を検証し、運営の改善及び新たな行事の展開等検討していく必要があります。

予算額	決算額	財源内訳 (単位:円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,514,000	7,338,913			1,934,173	5,404,740

事業名／地域スポーツ奨励事業

◆事業内容(目的・必要性)

地域の健康づくり、コミュニケーションづくりを目的に、各種スポーツイベントの運営に係る経費の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び施設使用料等における経費の補助を行いました。

◆事業の成果

■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。

- ・福崎小学校へ 48,000円
- ・田原小学校へ 48,000円
- ・高岡小学校へ 28,800円
- ・八千種小学校へ 48,000円
- ・福崎東中学校へ 28,800円
- ・福崎西中学校へ 28,800円

■スポーツクラブ連合補助金を交付しました。

- ・スポーツクラブ連合補助金 50,000円

□効果・達成度

スポーツクラブを支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。

□課題・改善

スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めます。

予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳 (単位:円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
381,000	280,400				280,400

IV 学識経験者の意見

(1) 就学前の子育て支援事業

- ① 福崎町子ども子育て支援事業計画を継承され、令和2年度から「福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定されたことは、福崎町の明るい未来が予測できると思う。令和6年度までに計画を実現させてもらいたい。
- ② 神崎郡3町で神崎郡病児病後児保育施設が開設され、丁寧に保護者に周知することで、働くお母さんお父さんにとっては安心ができる事業である。
- ③ 保護者の就労等の事情で町外保育所利用の児童にも、適正な保育環境の充実が見られた。
- ④ 入園児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な認定こども園の運営管理に努めている。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の対策が万全に行き届いた状態なので安心した。
- ⑥ 感染対策が徹底された環境で、認定こども園での教育・保育が継続して提供されたことは、園児やその保護者にとって安心で安全な場所としての認識が、さらに高まったのではないかと思う。
- ⑦ 保護者の多様なニーズに対応して、延長保育事業や一時預かり事業を実施されたことで、保護者の不安が軽減され喜ばれていると思う。
- ⑧ 一時的に家庭で保育できない子どもの一時預かりや保育料助成でも、子どもを生き育てやすい環境づくりに貢献している。
- ⑨ 「ひょうご保育料軽減事業」に基づき行った事業では、きめ細かな助成だと評価する。
- ⑩ 1台の園児送迎バスで町内すべての保護者の希望に応える難しさもあるが、継続されていることはすばらしいと思う。さらに安全な送迎の確保をお願いする。
- ⑪ コロナ禍において、多くの行事が中止縮小されたことは残念だが、やむを得ない。その中で、子育て支援センターでの相談業務を継続して行われたことは、保護者にとって、安心に繋がったと思う。
- ⑫ 子育て親子が集える場として子育て支援センターが開放され、交流のための遊びの事業などが実施されていることは、子育ての孤立化の軽減が図れ、特に在宅勤務のイライラの中で、家庭内DVや虐待が増えているというこのような環境の中ではより一層大切なことである。
- ⑬ 保健センターとの連絡を密に行い、子育て中の親子の気持ちに寄り添い、悩みを共有されていることは、保護者にとって安心できる取り組みといえる。
- ⑭ 学童保育においても、4月と5月の小学校臨時休業期間中に開園し、勤労家庭の子育て支援がなされたことは、子どもの居場所が確保され、コロナ感染当初の急な対応に困った家庭を支えることとなった。
- ⑮ 遊具の修繕、感染予防として空気清浄機の設置などが行われており、環境改善に努めている。
- ⑯ 学童保育園について、土曜日にもセンター方式として町内4小学校の児童を対象

に保育を行う事業は親のニーズに合ったものと評価したい。

- ⑰ 放課後子ども教室では、地域の大人とふれあうことで、子どもたちも安心した時間を過ごしている。

(2) 教育委員会関係事業

- ① この事業で教育委員の方々の考え方や取り組み状況が見えないように思う。
- ② 新型コロナウイルス感染症に関する町独自の支援策の財源に充てるため、教育長の期末手当が減額されている。
- ③ コロナ禍で色々な事業の不足等があった中、多種多様な学校での活動ができたと思う。
- ④ 不登校支援員の配置や心身障害児教育支援委員会の開催などで、子どもたちの問題解決に早期対応ができ、支援を要する子どもたちの実態把握や適切な入級判定がなされている。
- ⑤ 児童・生徒と教職員の健康保持・増進のために、各種検診が実施され、円滑な教育活動を展開する基盤となっている。また、教職員には、オンライン診断でストレスチェックも実施されている。教職員の心の健康の保持、増進に一層の配慮をお願いしたい。

GIGAスクール構想(※1)の前倒し推進や、保護者の経済的状況の変化など、子どもたちにも保護者にも教職員にも、普段ない精神的負荷がかかっており、それに気づいていない場合もあるので、この数年は、不幸な事態にならないよう、心の健康にもしっかり留意して対応する必要があると思われる。

(3) 学校関係事業

- ① 4月と5月の臨時休業に続き、夏休みを短縮して学習時間を確保するなど、コロナの影響を受けた小中学校の生活は、子どもたちも保護者も教職員も大変だったと思われるが、県及び町独自の事業も実施し、感染予防を徹底され、学習活動が健全に継続されたことは頭が下がる思いである。
- ② 小学校5年生が経験する自然学校では、通常より少ない2泊3日に縮小されたようだが、するのとししないのとでは、子どもたちの成長に違いが出るように思う。継続を願う。
- ③ 福崎町学校施設等長寿命化計画に基づいた、福崎小学校北校舎の長寿命化改良事業が完了した現場を見学したが、廊下、天井、外壁改修、トイレ、手洗い場などが魅力的で、大変清潔、かつ学校生活が向上するように改善され、快適な学校生活がおくられていて良かった。また、教育ICT環境が整備されるなど、新しい学習環境のなかで、児童のみなさんが授業に意欲的に取り組んでいる姿に活気があった。
- ④ GIGAスクール構想推進に向けては、校内通信ネットワークの整備、一人一台のデジタル端末、充電器を兼ねた電源キャビネット、各教室に直接黒板に投影でき

る明度が確保されたプロジェクターの整備など、教育ICT環境が促進されたことはとても素晴らしい。

さらに、ハード面のみならず、デジタル端末で使用できる学習支援ソフトの導入等をはじめ、視察中にいくつかのクラスで、英語活動での活用、あるいは、自宅学習で自分の好きな時間の紹介動画を撮影し、クラスで発表し共有するなど、学習面でデジタル端末をしっかりと活用している様子であった。子どもたちが笑顔で授業を受けていたことが印象に残った。教育のデジタル化をさらに促進し、利活用されることを期待する。

OECD(※2)のEDUCATION2030(※3)やLearning Compass(※4)、個別最適化の学びと共同エンジェンシー(※5)を育む対話的な学びを意識し、福崎の児童生徒がアフターコロナで輝く人材となる姿が実現可能なこととして期待でき、わくわくした気持ちを感じた。

- ⑤ 多感な時期の中学校生活で、個々人の可能性を伸ばす環境が整っている。生徒たちが合唱やスポーツに取り組む姿勢は、良い結果が出たことで証明された。
- ⑥ 図書の購入、理科教材備品の購入を進められたことは、児童生徒の学びを豊かにしていくと思われる。
- ⑦ 心身に障害を有する児童生徒に応じる必要な環境が整備され、安心な事業である。
- ⑧ 就学援助による教育環境が年々充実しているように思う。
- ⑨ 修学旅行における就学援助が例年より低いのは、コロナにより延期された修学旅行が、行き先を近くに変更して実施されたり、GoToトラベルの割引を利用できたりしたからとのことである。

(4) 給食センター事業

- ① 各地でさまざまなことがある中で、平成30年度からの民間委託に大きな問題がおきていないことは、良かった。
- ② コロッケ、夏野菜カレー、みそをはじめ、地元産使用も進み、地産地消率が上がっていることも大変素晴らしいことである。また、週4回のご飯給食、もちむぎ粉の入ったパン、もちむぎ麺などをいただけることはありがたい。
- ③ 地産地消の推進は、食育にも効果大と思う。
- ④ 中学校までの給食事業が実施されていることは、栄養バランスや食育の面からも、大変良いことだと考える。
- ⑤ 計画的に厨房機器、設備機械等を更新、修繕されており、安全で衛生管理された施設で給食が提供されているのは良いことだ。

(5) 社会教育事業

- ① コロナ禍での社会教育全般にわたる事業の推進は、中止・縮小など困難であったと思う。

- ② 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、学校支援活動や教育支援活動に継続的に取り組まれたことにより、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることができていることは素晴らしい。
- ③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期となった事業もあるが、成人式などは、場所、時間短縮等の感染対策を講じて実施され、オンデマンド配信（※6）もされたとのことで、良かった。
- ④ 心豊かな地域づくり推進においては、この状況の中でも活発な活動が続けられていることは、ありがたい。
- ⑤ 核家族化が進んでいる中で、地域内での人間関係の希薄化を防ぐ事業は、子どもたちの健全な成長につながって良い事業と思う。
- ⑥ 福崎町内のスクールヘルパー事業は活発であり、地域ボランティアの存在が子どもたちを支えていると思う。
- ⑦ 男女共同参画基本計画の10年計画の5年目となっているが、よくなっているかどうかわかりづらい。
- ⑧ 子どもたちには、人権学習の成果があり体得しているように思うが、大人たちの認識が薄いように思う
- ⑨ 今後、SDGs（※7）の中でも、新たな多様性を受け入れ尊重することの取組も進むであろう。VUCA時代（※8）の中で、発達段階に応じて、体験活動などを通して、互いの価値を理解しあい、他者を理解しあって、正解のない課題にも、よりよい納得解を共に見つけていけるよう、子どもも大人も共に豊かな心と生きる力を育ててほしい。連携して協力していきたいと考える。

（6）芸術・文化事業

- ① 中止した事業も多いが、利用年齢層に偏りが見られ、若年層の利用促進が課題と言える。
- ② 公民館クラブの会員増加は良い傾向であるが、若年層の利用促進は例年難しそう。良い手立てはないのだろうか。
- ③ 老人大学に参加している方から聞くとところによると、講義によっては、単調で眠くなるのがたまにあるとのこと。楽しくメリハリのある授業をと思う。
- ④ 学校においても、児童生徒が主体的に地域活動に参加することそのものをねらった実践で、自分たちが中心になって関わるができる機会を作ればよいアイデアを出してくれるかもしれない。
- ⑤ 文化センター施設について、2階への階段等のバリアフリー化、耐震化の未実施、老朽化など、検討すべき課題があるという状態が続いている。財政状況で難しいこともあろうが、早い判断が求められる。段差など事故が起きないかと心配する。
- ⑥ コロナ禍のエルデホールでの事業は、席数を半減し、公演数も減らしての実施であったが、完売する公演もあった。また、貸館業務も安価であるため、宣伝をして

貸館利用を推進するとのことである。ウィズコロナ、アフターコロナにおいても、さらに地域振興・文化発展のため、わくわく、いきいきするような企画で、活発に利用されることを願う。

- ⑦ 研修センターまつりは例年どおり実施され、コロナ感染対策が万全で成功したと見受けられる。卓球利用の子どもから公民館クラブ利用の年配まで、活発に活動が行われているようである。

(7) 図書館事業

- ① 臨時休館や制限付き貸し出しで利用が大幅減少したが、外出自粛から家で過ごす時間が増え、書架やイベントの工夫をされたことで、利用が回復しているとのことである。引き続き、安心して利用できるよう、ウイルス除去、消毒など感染予防対策に取り組みながら、定例行事も含めて読書活動の推進を進めていただきたい。
- ② 図書消毒機の設置は、コロナ禍でのニーズに合った事業で良かった。
- ③ 子どもたちが図書館を見学することで読書の習慣が身につくと思う。学校からの図書館見学を機に、図書館利用に繋がっているようなので、児童生徒からのおすすめの本の紹介やビブリオバトル(※9)等、考えられてはどうか。

(8) 文化財事業

- ① 辻川界限は、町の文化ゾーンだと思う。さまざまな郷土資料を適切に収集保存して公開し、保全活用を進めている。まちおこしとしても、うまく活性化がなされている。新たな取り組みもされており、活気が感じられる。コロナ収束後に新しい企画等でマンネリ化を防ぎ、にぎわいを期待する。
- ② ふくさき歴史体験隊の隊員数が4人(令和元年度17人)に激減している理由は、コロナ禍の影響で全4回の活動が1回のみになったためとの報告があった。
- ③ コロナ禍で三木家資料ワークショップ「下張り文書はがし作業」の参加者が少ないようだが、検証されたい。
- ④ 辻川界限での他事業との相互連携事業を含めて、さまざまな文化財の調査、保存・活用がなされている。更に進めることで、新しい発見があるのではないだろうか。
- ⑦ 福崎町では、文化財はわたしたちの身の周りにある未来に残したい「宝物」と考えられており、とても古代へのロマンが感じられる取組であると考えている。

(9) 社会体育事業

- ① 青少年野外活動センターに紅葉を見に行ったら、あるボーイスカウトの子たちの生き生きとした利用状況を見てうれしく思った。
- ② コロナ禍で、利用者の大幅な減少があったことはやむを得ないが、ここ数年、経費も投入され、より美しく安全で便利になっている。今後さらなる利用が進むよう、

広報活動も進められたい。

- ③ 保健体育事業は、町民の健康保持増進を図るうえで必要性が高く、利用する者にとっては継続してほしい事業と言える。また、子ども会行事がスムーズに行える充実した事業でもある。
- ④ 町民や出身者、各種関係団体の成績優秀者にスポーツ功労賞が授与されているが、小さな町で、近年スポーツでは優秀な結果を出しており、本人及び指導者、支援者、町のさまざまな取り組みがモチベーションを向上させることとなっていると考えられ、喜ばしいことである。
- ⑤ どのグラウンド施設も充実した安全な施設であるので、利用者も多いと思う。
- ⑥ さるびあドームも利用者が多く、コロナ収束後は町の新しいイベントを期待したい。
- ⑦ スケートボード場の利用者が増えているが、未登録やヘルメット未着用が目立つとのことで、苦慮されているようである。皆が安全で快適に利用できるよう、事故が起こる前に、より効果的な啓発・監視が求められる。
- ⑧ 学校施設を社会に開放する事業は、地域住民の体力向上や地域コミュニティの育成に役立っていると考ええる。また、スポーツクラブを運営するうえで、なくてはならない制度であり、熱心に活動が実施されている。
- ⑨ 体育館運営に関しては、コロナ収束後、利用者が増加し、町民の健康維持、増進を期待したい。生涯スポーツを中心に、地域のスポーツイベントの運営にかかる経費に対する補助がなされ、気軽にスポーツができる環境づくりができています。
- ⑩ コロナの感染拡大状況により、引き続き、家庭にひきこもって動かない生活ではなく、保健センターとの連携事業等、幅広い世代の健康づくりのために「ゆるスポーツ」(※10) などを取り入れて、地域の活性化とウェルビーイング社会(※11)の実現がなされることを願う。

令和3年12月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（敬称略）

神戸医療福祉大学教授 野本 玲子

兵庫県立福崎高等学校長 長森 順子

住民代表 松岡 隆子

※1 G I G Aスクール構想

1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するための構想

※2 O E C D

ヨーロッパ諸国を中心に日本、アメリカ合衆国を含め、38ヶ国の先進国が加盟する経済協力開発機構

※3 E d u c a t i o n 2 0 3 0

O E C Dが2015年に立ち上げたプロジェクトで、複雑で予測が困難な2030年の世界を生き抜くために、生徒たちに必要な力は何か、そしてそれをどのように育成するのかといったことを検討するプロジェクト

※4 L e a r n i n g C o m p a s s

E d u c a t i o n 2 0 3 0プロジェクトの成果であり、教育の未来に向けての望ましい未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組み

※5 共同エージェンシー

生徒が共有された目標に向かって邁進できるように支援する、保護者・教師・コミュニティ・生徒との双方向的なお互いに支えあう関係

※6 オンデマンド配信

視聴者の要求に応じて動画を配信する型式で、撮影した映像を好きな時に視聴できる

※7 S D G s

持続可能な開発目標の略称で、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標

※8 V U C A時代

将来の予測が困難になっている不確実、複雑で曖昧な時代 VUCAは、「Volatility: 変動性」「Uncertainty: 不確実性」「Complexity: 複雑性」「Ambiguity: 曖昧性」の頭文字

※9 ビブリオバトル

誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲーム

※10 ゆるスポーツ

老若男女誰でも楽しめる新案競技で、運動が苦手な人も障がいや特性のある人も皆が楽しく参加できるようにルールが考えられている

※11 ウェルビーイング社会

身体的・精神的・社会的に良好な状態、周囲の人々との関係の中で、思いやりや共感を通していきいきと活動している幸福な状態にある社会

V 參考資料

<基本方針>

「志」の種をまく 福崎の教育

～ すべての子どもの 心に「灯」をともし 学校教育

町民みんなの 学びたいことが学べる 社会教育 ～

<努力目標>

1 就学前保育・教育の充実

- 1) 豊かな感性と思いやりの心を育てる「環境づくり」に努める。
- 2) 集団生活や話を「集中して聞く」などの社会性と基本的な学習習慣の確立に努める。
- 3) 3歳児からの就学前教育の充実と5歳児の外国語活動に努める。
- 4) 発達障害児等が適切な支援を継続的に受けられる療育支援体制の整備、充実に努める。
- 5) 町内3カ所の子育て支援施設が連携し、子育てに関する情報提供、相談業務等、さらに連携した子育て支援機能に努める。
- 6) 「福崎町子ども・子育て支援事業計画」による取組を継続し、「第2期福崎町子ども・子育て支援事業計画」の推進に努める。

2 学校教育の充実

- 1) こころ豊かな人間性と自立する人づくりを推進する。
 - ① 日常的で地道な取組の積み重ねを何よりも大切にする。
 - ② 学びを支える環境を充実し、共生社会の実現を含めた「生きる力」を育む。
- 2) 学力保障、進路保障を推進する。
 - ① すべての児童生徒への「わかる授業」に努め、授業でしつける。
 - ア) 学校現場を可能な限り視察し、課題の把握と適切な指導に努める。
 - イ) 教職員組織の活性化に努める。
 - ウ) 学力向上委員会をさらに機能させ、「福咲学力アップタイム」の継続・発展に努める。
 - エ) 朝読書や家読及び「フクちゃん読書の日」(毎月29日)、「サキちゃん読書の日」(3月9日)等を実態に応じて工夫し、読書意欲と習慣の定着に努める。
 - オ) 人生100年を通じた生涯学習の基盤づくりに努める。
 - ② ふるさとの魅力の再発見・再認識に努め、「ふるさと 福崎」を愛する児童生徒のを育む。
 - ③ 社会教育施設(図書館、文化センター、体育館、柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等)とも連携を図り、生涯を通して自ら学ぼうとする意欲や関心の基礎づくりに努める。
- 3) 人間的なふれあいを通じた生徒指導を推進する。
 - ① 学級や学校で疎外されがちな子やくらしに課題がある児童生徒を中心にすえ、ひとりの「いたみ」や「つらさ」をみんなが共有・共感でき、ともに明るい展望が持てる仲間づくりに努める。

- ② 児童生徒の生育歴や家庭環境を知ることなく、生徒理解はできない。また、児童生徒は一面的ではなく多面性があり、同時に変化していることに留意して指導する。
- ③ いじめ・不登校に対して、多くの仲間とともに課題解決に取り組む。
 - ア) 教育相談体制をさらに機能させる。
 - イ) いじめに対して、各校で実態に応じて、定期的・臨時的なアンケート調査や教育相談の工夫により、早期発見に努め、児童生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。
 - ウ) 不登校・不登校傾向の児童生徒に対して保護者や関係機関との連携を密にしながら、早期対応により児童生徒の自己実現に努める。
 - エ) 研修や不登校指導員、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなどと連携を密にし、児童生徒及び保護者の悩み等を受け止める相談体制の充実に努める。
 - オ) 関係機関とも連携し、即時即場で継続的な指導に努める。
- ④ 全教職員の共通理解により、組織的な指導に努める。
- ⑤ 福崎町「健全な子どもの育成5つの方針」を見直す。
- 4) 感動・感激、実感・体感など体験活動を推進する。
 - ① 地域の活動、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感及び所属感や自己有用感を高める体験活動を工夫する。
 - ② 児童生徒が夢や希望を大切にす気持ちと姿勢を醸成する。
- 5) いのちの教育の充実に推進する。
 - ① 思春期支援教室、介護体験、乳幼児保育、里山散策、花栽培などにより人間と自然を愛し命あるものを慈しむ心、すべての命のかけがえのなさや畏敬の念を実感する人づくりに努める。
 - ② 危機管理意識を強めるとともに、防災教育・学校防災体制の充実に努める。
- 6) 人権教育の体制強化を推進する。
 - ① 児童生徒、校区、地域、町の実態に即し、現実に学ぶ人権教育に努める。
 - ② 同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的少数者など人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。
 - ③ 児童虐待の早期発見・早期対応に努める。
 - ④ インターネット時代における情報活用能力を育成するとともに、SNS のマナーや配慮に対して人権の観点から指導し、情報モラル・セキュリティ意識の醸成に努める。
 - ⑤ 青少年健全育成・人権フェスティバルを継続開催し、日常生活に人権意識が尊重されている人権文化の確立に努める。
 - ⑥ 生命の尊厳を基盤に、教育の主体性、中立性を堅持する。
 - ⑦ 学習支援員を継続配置し、学習面で支援を要する児童生徒の支援に努める。
 - ⑧ 外国語活動、外国語教育、国際理解教育に努める。
- 7) 特別支援教育の充実に推進する。
 - ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」により一貫した支援体制の構築及びニーズに応じた合理的配慮の提供に努める。
 - ② インクルーシブ教育を推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害およびその傾向にある児童生徒等の指導体制の確立に努める。
 - ③ 介助員を継続配置し、学校生活で支援を要する児童生徒の支援に努める。

- 8) 食教育を推進する。
 - ① 「第2次福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。
 - ② 学校だよりや食育通信、PTA 会報等で食教育についての啓発に努める。
 - ③ 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承を図り、自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力の育成に努める。
 - ④ 「早寝、早起き、朝ごはん」を奨める。
 - ⑤ 「地産地消」、「不時不食」(旬の食材)、「もちむぎ」などの地元産の食材利用に努める。
 - ⑥ 給食費滞納の解消に継続して取り組む。
 - ⑦ 民間委託による給食調理、配送のさらなる充実を図るとともに、引き続き学校栄養教諭による食指導の充実と安全・安心な学校給食の提供に努める。
 - ⑧ 食事のマナーとともに、感謝の気持ちをもって食事をする園児・児童・生徒を育てる。
- 9) 学童保育園の活動内容の充実、活動環境の改善を図るとともに、放課後児童支援員認定資格研修等により、指導員の資質向上を推進する。
- 10) 学校施設等長寿命化計画(平成30年度策定)に沿って、順次推進する。
- 11) 学校の業務改善を推進する。
 - ① 教職員が時間的、精神的にゆとりを持って児童生徒と向き合うことで、教育活動のさらなる充実を図ることができるよう、「教育職員の業務の量の適切な管理に関する規則」(町教育委員会規則 令和2年4月施行)に基づき、教職員の勤務時間等に関して適切な管理を行うとともに、兵庫県「教職員の勤務時間適正化プラン」(平成29年4月策定)および「福崎町立中学校運動部活動ガイドライン」(平成31年1月施行)の完全実施に努める。
 - ② グループウェア等を利用して、業務の簡素化に努める。
 - ③ 校務支援ソフト(平成29年度に導入)等を活用し、引き続き校務の効率化に努める。

3 家庭の教育力

- 1) 家庭教育学級を推進する。(認定こども園・小学校・中学校)
 - ① 子育てについての保護者の抱える課題や今日的に学ぶ必要のある課題に対応した学習会や講演会を工夫し、保護者の子育て支援に努める。
 - ② 積極的に家庭へ情報提供し、連帯感や子育て情報の共有に努める。
- 2) 基本的な生活習慣、学習習慣の確立等、家庭教育の重要性についての啓発に努める。
- 3) PTA 活動の活性化のため、深い連携に努める。

4) 地域の教育力

- 1) すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を推進する。
 - ① 研修会、講演会等により地域住民の青少年健全育成意識や協力体制の理解を高める。
 - ② 啓発リーフレットや広報車等を活用した啓発活動により、「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。
 - ③ 地域で子どもたちの成長を支える活動の支援に努める。
- 2) 地域住民の幅広い参画を推進する。
 - ① 開かれた学校づくりに努める。
 - ② 青少年補導委員会やPTCAの活動を支援する。

- ③ 地域教育推進委員会（県民交流広場）の活動を支援し、また委員会相互の連携を図る。
- 3) 学校支援地域本部事業を推進する。
- ① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を「教育」に活かす取組を進める。
 - ② 学校支援者が児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生き方につながる活動を創造する。
 - ③ 土曜教育支援体制構築事業を活用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講する。

5 社会教育・生涯学習

- 1) 二人の名誉町民（柳田國男・吉識雅夫）を顕彰し、郷土への愛着と誇りをもつ子どもの育成を推進する。
- ① 地域の歴史や文化をテーマに、優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈るとともに、氏の功績や郷土の歴史を再確認する取組を進める。
 - ② 柳田國男ゆかりの岩手県遠野市との友好都市交流事業として、福崎町の児童が遠野市を訪問し、児童交流とともに「遠野物語」の原風景にふれたり東日本大震災の後方支援等の学習内容を他の児童生徒へも活かす工夫に努める。
 - ③ 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学・理数分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、「吉識雅夫科学賞」を贈る。また、広く町民に向けても氏の業績を発信するよう努める。
- 2) 芸術・文化活動を推進する。
- ① 図書館では、住民の自主的な学習拠点として、蔵書を充実させ、快適で安全な利用しやすい図書館運営に努める。
 - ② 「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書週間が身につくよう、毎月29日を『フクちゃん読書の日』、3月9日を『サキちゃん読書の日』とした活動等、学校教育と連携した事業を展開する。
 - ③ 町内小中学生に配布している「読書ノート」を活用し、読書への関心を高め、読書する環境づくりに努める。また、町内の利用者を増やすために大人や中・高生向け行事を実施し図書館来館のきっかけづくりを工夫する。
 - ④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動に努める。
 - ⑤ 図書館に設置した「自習スペース」の効果的な活用を努める。
 - ⑥ 図書館の町内在住者の利用を増やすため、大人向けイベントを工夫する。
 - ⑦ 蔵書構成の見直しやギャラリーの有効活用による図書館利用を推進する。
 - ⑧ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に添ったもの、若者をターゲットにしたもの等のテーマに分けて実施する。「友の会」制度の啓発に努め、より多くの方に自主事業に会場していただくよう情報発信を行う。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業の実施や住民が参加できるような企画づくりに努める。
- 3) 地域の歴史文化遺産の掘り起こし・保存・活用を推進する。
- ① 地域の文化財及びその周囲を含め総合的に把握し活用するための基本的なアクションプランとして、福崎町文化財保存活用地域計画を令和2年度から令和4年度の3カ年で作成する。初年度は、計画作成のための自治会アンケート調査や文化財データベースの作成を行うとともに、福崎町文化財保存活用地域計画協議会を開催し計画内容を検討する。

- ② 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保存・展示に工夫を加え、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、「神崎郡の古墳」及び「戦後75周年 福崎と戦争の歴史をつむぐ」の2つの企画展や連続講座を継続的に開催する。
 - ③ 記念館では、引き続き春季・秋季に松岡映丘画稿展を開催し、松岡五兄弟の顕彰に努める。
 - ④ 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産の掘り起こしを工夫する。
- 4) 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用を推進する。
- ① 7回目を迎える「柳田國男検定」は、初級・中級・上級試験を工夫し実施する。検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深める。
 - ② 第41回山桃忌は、「柳田國男と『海上の道』」をテーマにシンポジウム・沖縄の民俗芸能である琉球舞踊と沖縄エイサーをエルデホールにて披露する。
 - ③ ひょうご地域創生交付金を活用し、大庄屋三木家住宅では資料整理・展示公開等を継続的に実施する。
 - ④ 三木家改修工事に伴い分散保管している三木家資料収蔵のため、三木家住宅東の隣接地に収蔵施設（木造2階建て、建築面積60㎡）を建築し、更なる資料の活用を図る。
 - ⑤ 柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅が住民に愛され親しみのある施設となるよう取り組む。
 - ⑥ 辻川山周辺は、町民の憩いの場として気軽に利用できるよう広報等に努める。
 - ⑦ 地域の祖先の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示し、住民の埋蔵文化財への関心を高める。
- 5) 社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりを推進する。
- ① スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の発展に努める。
 - ② 総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。
 - ③ 各種健康スポーツ教室・大会等の充実により町民の体力向上に努める。
 - ④ 野外活動センターを住民に周知と利用を促す広報に努める。
- 6) 参加しやすく魅力ある公民館活動の運営を推進する。
- ① 学習や活動を通じて、人と人との交流を深めるとともに、生きがいを高める。
 - ② 学習成果を社会にいかす取組を工夫する。
 - ③ 町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。
 - ④ 若年世代の参加を図る工夫に努める。
 - ⑤ 障害のある人の学習機会の充実に努める。
- 7) 人権に関する学習機会の充実を推進する。
- ① 一人ひとりの人権が尊重され、心と心が豊かにつながる地域づくりに努める。
 - ② 自治会研修会の工夫と活性化に努める。
 - ③ 男女共同参画基本計画に基づき、男女が互いの生き方と相手の人権を尊重し、責任をわかちあいつつ、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に努めるとともに、5年目を迎える計画の中間年に見直しに取り組む。

6 開かれた教育委員会

- 1) 総合教育会議（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い平成27年度に設置）等で町長部局との連携を強め、よりよい教育行政に努める。
- 2) 所管施設の現状と利用者の要望を認識するために、定期的・臨時的に所属長との面談や現場視察に努める。
- 3) 「事務事業点検評価」（「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく）を引き続き実施・公表し、住民から広く意見を求めるよう努める。
- 4) 新教育委員会制度に関する研修・研鑽をさらに深め、より発展的・効果的な制度に努める。
- 5) 福崎町のために、職員・教職員が元気に活動できるよう工夫する。

福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

(目的)

第1条 福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

(役割)

第2条 評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

(定数)

第3条 評価委員の数は、3名程度とする。

(任期)

第4条 評価委員の任期は、1年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。
- 3 評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

(委嘱)

第5条 教育委員会は、委嘱状を交付する。

(教育委員会事務事業評価委員会)

第6条 教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

- 2 委員会は、教育長が招集する。
- 3 委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月10日から施行する。